

鎌ヶ谷市地域福祉活動計画

● 思いやりと支えあいのあるまち かまがや ●



平成29年3月
社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会

地域福祉活動計画の策定にあたり

現在、少子高齢化や働き方などの生活様式の多様化により、地域を取り巻く状況は変容し、家族による介護や子育ての機能低下、自治会加入者の減少、地域のつながりの希薄化など、地域で支えあう機能が低下しており、特に近年は、多くの要因が複合的に絡みあい、従来の仕組みでは対応しきれない福祉課題が数多く生じております。

このような中、鎌ヶ谷市社会福祉協議会は、地域の様々な福祉課題に取り組んでおりますが、様々な地域の課題は、決して社会福祉協議会だけで解決できるものではなく、行政、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、社会福祉施設、NPO団体などのご協力をいただきながら、取り組んでいかなければなりません。

こうした状況を踏まえ、鎌ヶ谷市地域福祉活動計画は、市民、福祉関係団体、行政が、行政計画である鎌ヶ谷市地域福祉計画の目指す姿を共有し、この計画を具現化するための、継続的な事業展開を具体的に定めるものであります。

また、「思いやりと支えあいのあるまち かまがや」を基本理念として、地域課題に柔軟に対応できる体制の強化に努めるとともに、この計画にあたっては、住民のみなさまが地域福祉の担い手となって主体的に活動していくことができるよう、さらなる地域福祉活動の推進に取り組んでまいります。

最後になりますが、この計画策定に多くの皆様にご協力いただきましたことに感謝申し上げますとともに、これからの計画推進にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会
会 長 徳 田 訓 康

目 次

鎌ヶ谷市地域福祉活動計画

第1章 活動計画の概要.....	1
1 計画策定の経緯.....	1
2 計画の目的.....	2
3 計画の実施期間.....	2
4 計画の位置付け.....	2
5 計画の進行管理.....	3
第2章 社協事業の概要.....	4
1 社協のあゆみ.....	4
2 組織と構成.....	4
3 社協の活動状況.....	6
第3章 実施計画.....	10
1 計画の基本理念と基本目標.....	10
2 計画の体系図.....	11
3 社協の取り組み（アクションプラン）.....	12
第4章 地区社協の活動計画.....	22
1 地区社協設立の経緯.....	22
2 社協と地区社協の関係.....	22
第5章 各種団体の取り組み.....	36
(1) ボランティアセンター登録団体.....	36
(2) 福祉施設.....	62
(3) 福祉NPO法人.....	67
(4) 当事者団体.....	72

第 1 章 活動計画の概要

1 計画策定の経緯

鎌ケ谷市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）では、平成7年5月に、地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）、自治会、ボランティア及び福祉関係団体などの広範な市民参加により、高齢社会に対応できる地域の助けあい活動や在宅福祉サービスの充実を計画的・組織的に推進し、豊かな人間関係のあるまちづくりを行うため、鎌ケ谷市地域福祉活動計画（以下、「活動計画」という。）を策定しました。

活動計画期間中の平成12年6月に、社会構造及び福祉制度の変化を背景に、社会福祉基礎構造改革において、「社会福祉事業法」は「社会福祉法」へと改正されました。この改正により、市町村社会福祉協議会は、地域福祉を担う組織として位置づけられるとともに、市町村は、地域福祉計画の策定が義務化され、鎌ケ谷市は、市民・福祉関係団体・社協などと協働で、平成17年3月に「鎌ケ谷市地域福祉計画（行政計画）（以下、「行政計画」という。）」を策定しました。

社協は、平成18年4月に、行政計画との連携を図りながら、地域で活動する自治会・社会福祉を目的とする事業者及び各種団体などと共に、「活動計画」を策定しました。

その後、活動計画期間中の平成23年3月に東日本大震災が起き、未曾有の災害を経験し、改めて人と人との絆、地域の助けあい支えあいを再認識し、災害時のボランティア体制の構築、生活困窮者のセーフティネットの充実など、社会の変化に対応するため、平成24年2月に「活動計画【改訂版】」を策定しました。

また、「活動計画【改訂版】」の期間中に、「障害者自立支援法」は「障害者総合支援法」となり、生活困窮者自立支援法の制定や介護保険制度の改正など、福祉制度が変化する中でこの5年間を振り返り、新たな地域福祉を推進するために、このたび活動計画（第4次）を策定することとなりました。

2 計画の目的

活動計画は、行政計画と連携し、誰もが住み慣れた地域で、いきいきと自立した生活が送れるように、地域における様々なサービスや活動を組み合わせ、共に支えあう地域づくりを具体化し、地域社会を構成するすべての人や組織が、地域福祉活動を計画的に進めていくための指針としていきます。

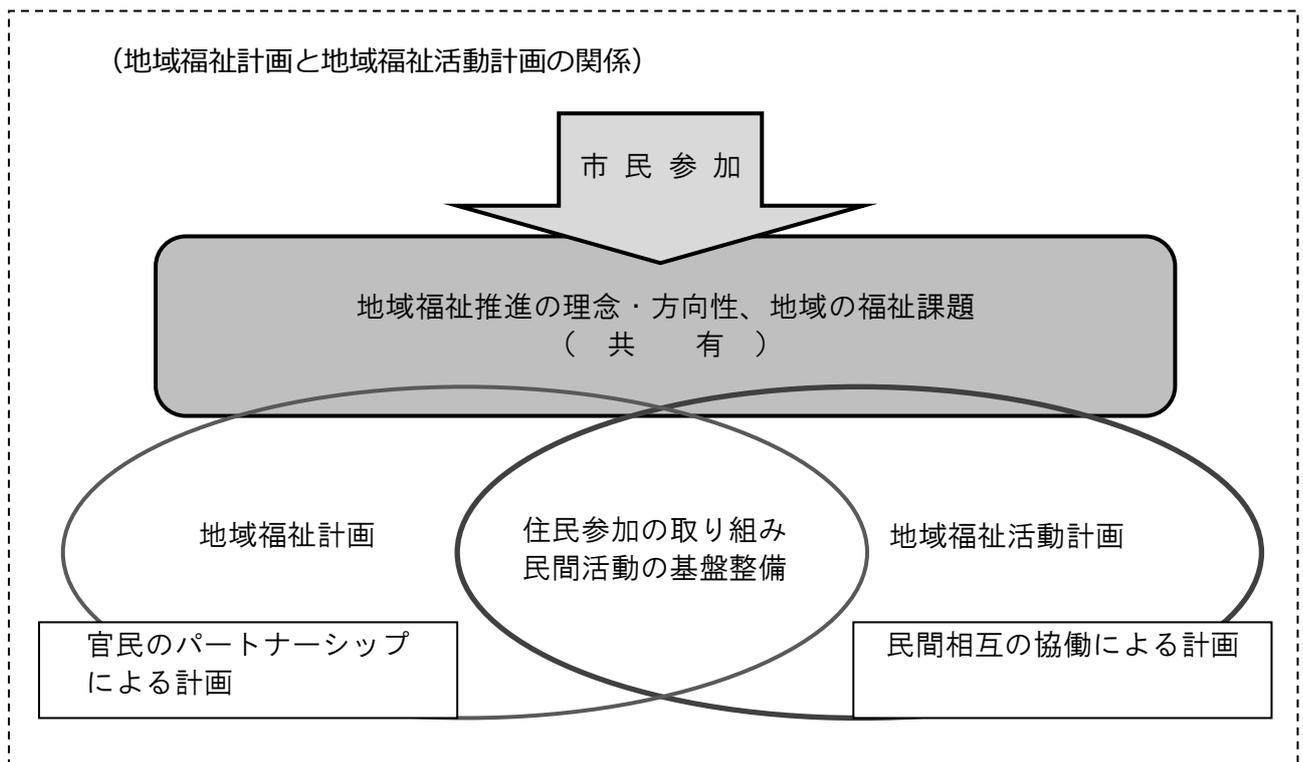
3 計画の実施期間

平成28年度から平成32年度までの5年間とします。ただし、活動計画の策定後に大きな社会情勢の変化や制度変更があった場合には、必要に応じて社協地域福祉事業推進委員会で、見直しを行います。

4 計画の位置付け

鎌ヶ谷市では、「思いやりと支えあいのあるまち かまがや」を地域福祉像として、平成28年6月に第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画を策定し、体制づくりの方向性を示しました。

活動計画は行政計画と連携し、市民・地域で活動する自治会、社会福祉を目的とする事業者、各種団体が、地域福祉活動を推進するための、民間の活動計画を取りまとめたものです。



5 計画の進行管理

活動計画の円滑な推進を図るため、社協では、進捗状況を把握すると共に、社協地域福祉事業推進委員会において、計画の評価・点検を行います。



第2章 社協事業の概要

1 社協のあゆみ

社協は、昭和38年4月に設立され、自治会、民生委員児童委員や福祉に関心を持った人たちが協働し、地域の福祉問題について検討を重ね、対策をたててきました。

昭和44年に社会福祉法人としての認可を得て、「社会福祉法人鎌ヶ谷町社会福祉協議会」となりました。その後、市制施行に伴い、昭和46年「社会福祉法人鎌ヶ谷市社会福祉協議会」に名称変更し、昭和58年に法令化され、社会福祉事業法に準拠しながら、社会福祉事業を展開してきました。

平成3年に、地区内の福祉課題について地域に住む市民が、その課題の解決に向けて協力しあう組織として、市内6コミュニティエリア内に地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）を設置しました。

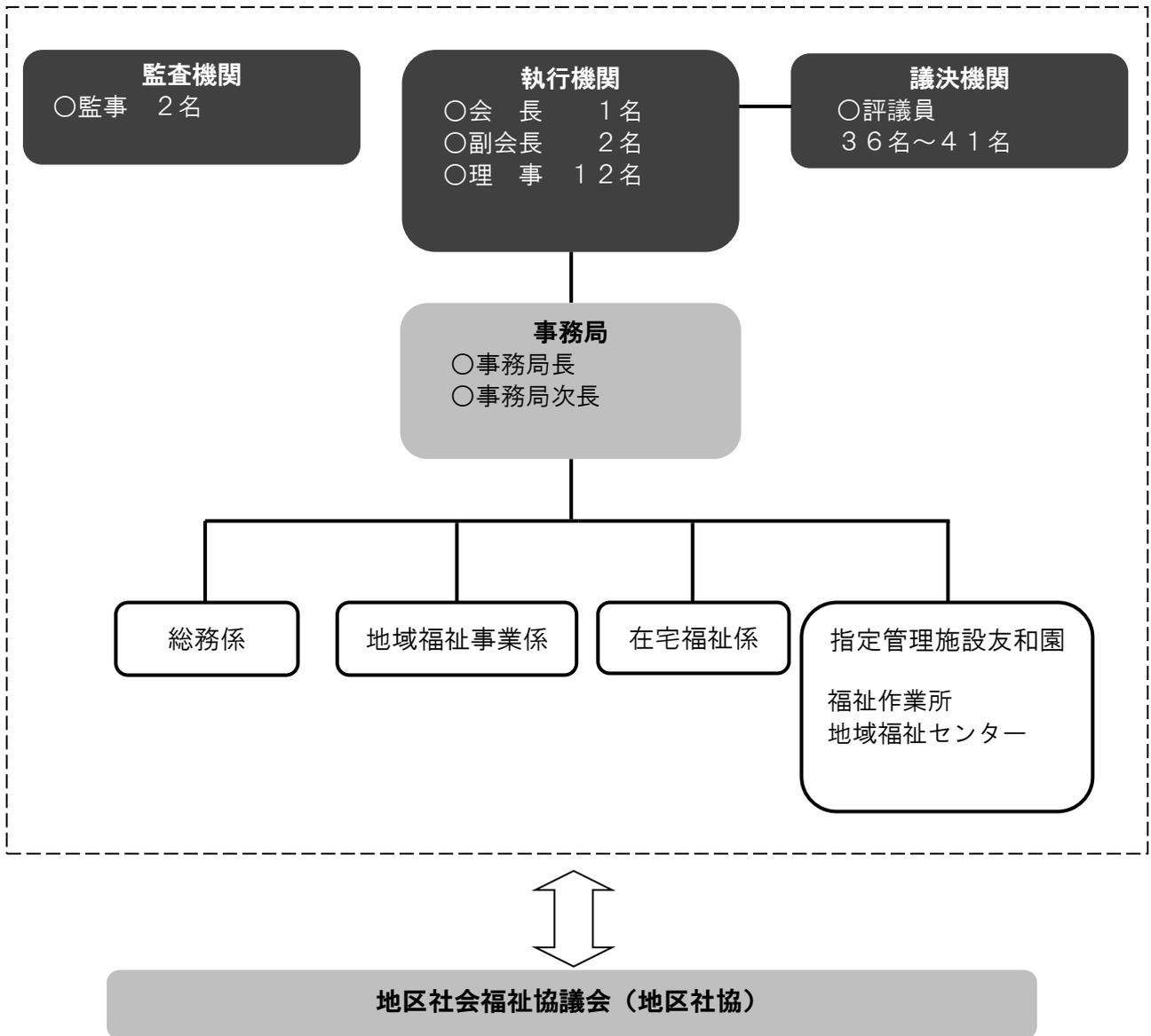
平成12年には、社会福祉事業法から社会福祉法へと法改正があり、市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を図る団体」と位置づけられ、現在も市民、福祉関係団体及び市と連携を図りながら、地域福祉活動の推進に努めています。

2 組織と構成

社協の組織は、執行機関としての理事会、議決機関である評議員会、監査機関及び事務局を設置し、地域福祉活動を推進しています。

また、市内6コミュニティエリアに地区社協を設置し、地域住民が主体となって地域福祉活動の推進に努めています。

組織図



3 社協の活動状況

1 広報啓発事業

① 広報紙発行、ホームページの開設

福祉に関する情報や社協の活動内容などを掲載した「鎌ヶ谷社協だより」を年3回発行しています。(6月・11月・3月)

事業計画と報告、会計予算決算や社協関係の行事予定をホームページで随時、発信しています。

② 社会福祉大会

地域福祉の推進と住民主体のまちづくりを目的に、社会福祉分野での功労者への顕彰、記念講演と共に実施しています。

2 地域福祉事業

① 地区社協事業

市内6地区のコミュニティエリアに、地域に密着した福祉活動の拠点として、地区社協を設置しています。地区社協事業は地域から選出された運営委員が主体となり、広報紙の発行、「ふれあい交流事業」、「ボランティア育成事業」、「在宅福祉事業」及び福祉サービスに関する案内を実施するなど、各種様々な事業を立案・実施して、地域に根ざした活動を展開しています。

② 心配ごと相談、心の相談

日常生活で困ったことや悩み、不安を持つ市民が、気軽に相談できる窓口として、週3回(心配ごと相談 週1回・心の相談 週2回)社協相談室で開設しています。

③ 赤い羽根募金

千葉県共同募金会の支会として、共同募金活動(赤い羽根募金・歳末たすけあい募金)を実施しています。また、この配分金を福祉関係団体や要援助者に配分し、地域福祉活動などに活用しています。

④ 民生委員児童委員活動の支援

民生委員児童委員協議会事務局として、理事会、各部会など日常活動についての支援をしています。

⑤地域福祉センターの管理

総合福祉保健センター内の一部を市から指定管理者の指名を受け、管理運営をとおして、市民活動や福祉団体などの支援をしています。

⑥備品の貸出し

地域での福祉講座や福祉まつりなどを支援するため、車イス、高齢者疑似体験セット、綿菓子機などの備品の貸出をしています。

3 ボランティア事業

①ボランティアセンター

ボランティアセンターは、社協内に設置している機関で、福祉を目的としたボランティア活動の拠点として、コーディネーターを配置し、ボランティア活動の啓発（広報紙、ホームページ）、幹旋、情報提供、保険加入手続き、団体支援、ボランティアの相談などを行っています。

②ボランティア育成事業

ボランティア入門講座、スキルアップ講座及び災害ボランティア養成講座などを実施し、市民のボランティア活動の育成をしています。また、市民対象の「市民ボランティア体験学習」や小・中・高校生対象の「夏休みボランティア体験」などを実施しています。

③小・中学校福祉講座

市内の小・中学校に、ボランティア団体の協力を得て、車イス体験、高齢者疑似体験及び手話・点字講座などの福祉出前講座をとおして、福祉教育を推進しています。

④災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

大規模災害の発生時には、鎌ヶ谷市総合福祉保健センターが、災害ボランティアセンターの設置場所に指定されており、毎年ボランティア団体の協力を得て、立ち上げ訓練を実施しています。

4 在宅サービス事業

①ふれあいサービス事業

高齢者や障がいのある方、子育て世代の方などが、日常生活でお困りになったとき、市民の協力を得ながら、有料で家事援助などの福祉サービスを提供する相互扶助の介護保険対象外の在宅福祉サービスを行っています。

②在宅介護者のつどい

要介護状態にある方を、在宅で介護している介護者を対象に、介護疲れを癒してもらうためのリフレッシュ事業と介護についての意見交換などを毎月1回実施しています。

5 障がい者福祉事業

①福祉作業所「友和園」の運営

市から指定管理者の指名を受け、「友和園」の運営を行っています。利用者の個性を尊重しながら、日常生活の支援並びにボールペンの組み立て、アルミ缶回収、手作り品の制作などの作業指導をしています。また、広報紙の発行や友和園祭を開催し、施設への理解と支援のための啓発をしています。

また、自力で通園できない利用者には、送迎サービスを行っています。

(生活介護、就労継続支援B型事業)

②すまいる祭りの開催

12月の障害者週間の期間中に、市内の障がい者施設、障がい者団体による発表会及びアトラクションを開催し、市民とのふれあいを通じて、障がい者福祉の啓発に努めています。

6 生活困窮者支援

①福祉資金貸付事業

一時的な生活困窮世帯が、緊急に援助が必要になったときに、民生委員児童委員と協力しながら、その生活の安定と向上を図ることを目的として、資金貸付をしています。

②生活福祉資金貸付事業

比較的所得が少ない世帯や高齢者、障がい者に対し資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その世帯の経済的な自立及び生活の安定を図ることを目的に資金貸付をしています。

資金の種類は、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金などです。

7 権利擁護事業

①日常生活自立支援事業

在宅で日常生活を送る上で、十分な判断ができない方や、体の自由がきかない方が契約に基づき、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類や印鑑の保全などのサービスを行い、地域で安心して生活できるように支援しています。

②成年後見制度の啓発

市内コミュニティエリア別に弁護士、司法書士、講談師などを招いて成年後見制度の啓発に努めています。また、併せて専門職による成年後見相談会を実施しています。

8 その他事業

①当事者団体、福祉関係団体の活動支援

自治会、民生委員児童委員協議会、小・中学校、福祉ボランティア団体などが行う、福祉活動に対して助成をしています。

②善意銀行の運営

市民の善意の寄付を受理、払出（指定寄付を含む）することにより社会福祉の増進をすすめています。また、被災世帯などで緊急の援護を必要とする場合に法外援護金を善意銀行より交付しています。

第3章 実施計画

1 計画の基本理念と基本目標

活動計画では、行政計画において示された地域課題を共通の課題、共通の計画として位置づけ、この課題を解決するために、地域福祉像や基本理念についても共通したものとしています。

▽地域福祉像

「思いやりと支えあいのあるまち かまがや」

行政計画が行った地区懇談会において、多かった意見を尊重し、地域のみんなでお互いを思いやって支えあえる地域をつくっていくための目標として、この福祉像としました。

▽基本理念

一人ひとりがきらりと輝きましょう
ともに知恵と力を出し合いましょう
いつまでも安心して暮らしていきましょう

活動計画では、地域福祉を推進していく上での基本的な考えとして、行政計画と同様の基本理念としました。

▽活動計画の基本目標

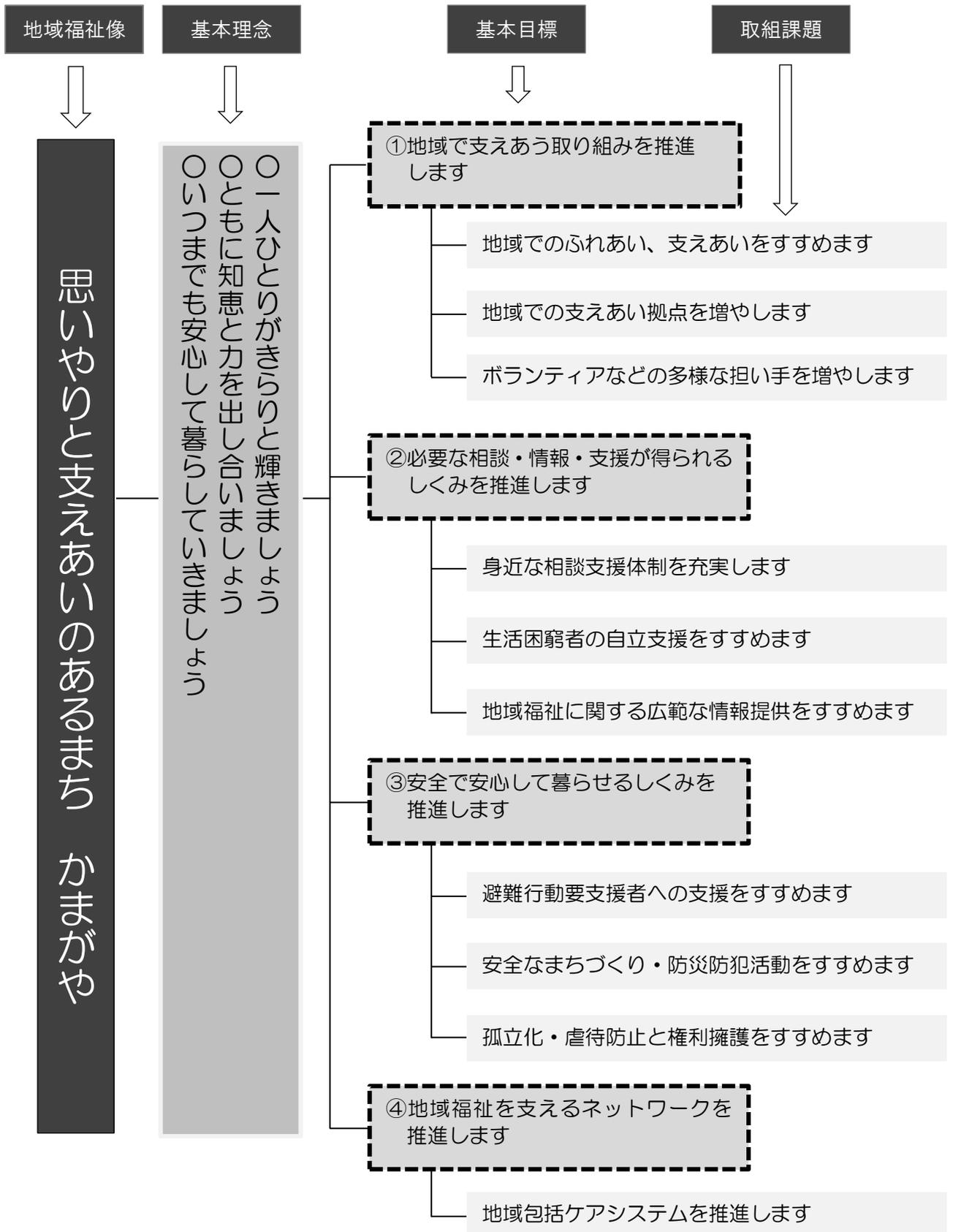
基本目標1 地域で支えあう取り組みを推進します

基本目標2 必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します

基本目標3 安全で安心して暮らせるしくみを推進します

基本目標4 地域福祉を支えるネットワークを推進します

2 計画の体系図



3 社協の取り組み（アクションプラン）

行政計画は、4つの基本理念に、それぞれの施策が明示されており、その施策への市の取り組み内容が示されている構成でした。活動計画においても、同様の構成で、行政計画を具体的に体現できるよう、社協の取り組みについて計画しました。

また、基本理念と施策の基になる、地域福祉に関する「市民の声」については、鎌ヶ谷市が実施した地域福祉に関するアンケート（平成27年2月～3月）と市内6地区で行った懇談会（平成27年8月～9月）の中から行政計画の中で明示されている内容を引用しています。

基本目標1 地域で支えあう取り組みを推進します

施策1 地域でのふれあい、支えあいをすすめます

<市民の声>

市民アンケート
より

※普段からの近所付き合いが大事だと思います。

地区懇談会
より

※自治会単位の規模で楽しい簡単な集まりを開催します。



<社協の取り組み>

基本目標	地域で声を掛けあうなど、支えあい活動の強化
活動内容	<ul style="list-style-type: none">日常生活でお困りの高齢者や子育て世帯などに対して、手助けが可能な地域の方が支えあう、住民同士の相互扶助の事業をとおして、地域の支えあい活動を促進します。地区社協が実施する交流事業への参加を促し、地域でふれあう場(顔を知る)作りを支援します。すまいる祭りの実施をとおして、障がい者福祉の啓発と地域の繋がりを大切にすることを発信します。高齢者人口が増加する中、老人クラブや援護グループの活動を引き続き支援し、健康で生きがいのもてるシルバーパワーを活用して、地域でのふれあい活動を促進します。「地域のつなぎ役」である民生委員児童委員活動を支援し、地域の見守り活動を促進します。

【民生委員児童委員】

「民生委員」は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める役割を担う。また、「児童委員」は、地域の子どもたちやその保護者が元気に安心して暮らせるように見守り、また、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援などを行う。

施策2 地域での支えあい拠点を増やします

<市民の声>

市民アンケート
より

※各地域にウォーキング途中で休めたり気軽に話し合ったりできる拠点をつくれないでしょうか。

地区懇談会
より

※憩いの場所づくり、近隣の方と交流を深め、人間関係をつくる。



<社協の取り組み>

基本目標	地区社協活動などにおけるサロン事業の促進
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・在宅で介護をしている方を対象としたサロン事業（介護者のつどい事業など）を充実させます。・地区社協が実施する高齢者、障がい者、親子などを対象とした多様なサロン事業を実施します。・各地区社協に地区コーディネーターを配置し、地区社協事業の運営補助と福祉に関する情報提供（福祉サービス案内）ができる体制を強化します。また、専門研修などへの参加をとおして、コーディネーターの資質の向上にも努めます。
新規取り組み	<ul style="list-style-type: none">・地区社協担当職員を配置し、地区社協事業の推進に努めます。

【サロン事業】

地域住民がボランティアと協同して、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」を行っていく活動。家に閉じこもりがちな在宅の高齢者や障がい者、子育て中の親子などが参加し、ボランティアとともに自由な発想で活動を企画し、自主的に運営するもの。

施策3 ボランティアなどの多様な担い手を増やします

<市民の声>

市民アンケート
より

※時間に余裕があればボランティア活動に参加したいが、どこに相談したらよいのかなどが詳しくわからない。

地区懇談会
より

※若いボランティアの担い手の集め方を工夫する。



<社協の取り組み>

基本目標	ボランティアセンター機能の強化と社協事業などへの参加をとおして地域活動への協力者を養成
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターが保有するボランティア情報の充実と相談体制を強化します。 ・ボランティア活動に関心があり、意欲のある住民に対し、各種講座や体験学習などを企画し、適材適所の活動の場を提供します。 ・ボランティア活動を福祉教育の一環としてとらえ、児童、生徒向けに、高齢者福祉や障がい者福祉への正しい理解とボランティア体験事業を実施します。 ・地区社協事業への参画及び参加をとおして、自治会活動や学校行事など、地域活動への参加をすすめます。 ・ふれあいサービス事業の協力会員としての活動及び研修会などをとおして、家事援助などを担える人材を育成します。
新規取り組み (一部継続 取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区社協において、話し相手や家具の配置替えなど、地域で軽易な助けあい活動が行える仕組みを再構築します。



基本目標2

必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します

施策4 身近な相談支援体制を充実します

<市民の声>

市民アンケート
より

※実際に困った時に情報がどこで得られるのか？その窓口はどこなのかなど、身近なところで聞けると安心。

地区懇談会
より

※相談できる窓口があってもなかなかそこまでたどりつかない。



<社協の取り組み>

基本目標	福祉に関する相談及び情報提供が得られる体制の強化
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・市民にとって、多様な相談を受けることができる相談事業（心配ごと相談と心の相談）の周知を強化します。・身近な相談窓口として、各地区社協で「福祉サービス案内」を行ない、専門機関や行政窓口への案内をします。・障がい者施設運営（福祉作業所友和園事業）をとおしてノーマライゼーションを発信すると共に、障がい者福祉に関する相談に応じます。また、障がい者の支援に努めます。
新規取り組み	<ul style="list-style-type: none">・地区社協において、地域にお住まいの有識者などの協力を得ながら、専門(介護、子育てなど)相談を実施します。

【ノーマライゼーション】

「障がいのある人や高齢者も、地域でごく普通の生活を営むことができ、差別されない社会をつくる」という理念。また、障がいのある人の自己決定を最大限に尊重し、障がいのために必要とする「特別なサービスを受ける権利」を持つことも同時に主張する思想。国際連合の障がいのある人の権利宣言やそのほかの障がい者福祉・教育の基本理念として世界的に認知され、その実現が目指されている。



施策5 生活困窮者の自立支援をすすめます

<市民の声>

市民アンケート
より

※経済的に困っている人のための受付窓口及びその内容の掲示を設置してほしい。

地区懇談会
より

※近所の生活困窮者と思われる方のごみ出しの手伝いや困りごとの相談、情報提供をしている。



<社協の取り組み>

基本目標	困窮世帯などへの支援に対し行政窓口や関係機関との連携を深める
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者及び子育て支援を担当する相談員やケースワーカーなどと協力しながら、その人にあった福祉サービスを模索していきます。 ・生活困窮者自立支援法に基づく事業と連携し、資金貸付事業をとおして、生活困窮者の自立支援に寄与します。 ・民生委員児童委員と連携し、相談、資金貸付、償還指導及び生活支援と生活困窮者への伴走型支援を行ないます。 ・「歳末たすけあい募金」で集めた募金を民生委員児童委員などの協力を得ながら、生活困窮者への支援に活用します。
新規取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいない気持ち」とお互い様の想いを育みながら、生活困窮世帯の一助となる市内中学生の制服リユース事業を実施します。

【生活困窮者自立支援法】

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人に対して、自立の促進を図るための措置を講ずることを定めた法律。就労など自立に関する相談や、住居の確保に必要な費用の給付などを行う。平成25年公布。平成27年4月施行。



施策6 地域福祉に関する広範な情報提供をすすめます

<市民の声>

市民アンケート
より

※まずは、正確な状況を皆で情報共有すること。鎌ヶ谷市は何が優れ、何に困り、何を(何から)解決すべきかをきちんと整理し、具体的な情報を市民に伝えて下さい。

地区懇談会
より

※自治会回覧をなるべく手渡しにしている。加入していない人にも情報を提供している。



<社協の取り組み>

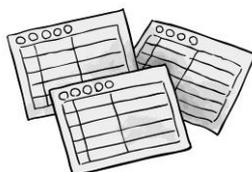
基本目標	広報紙やホームページなどを活用し、福祉情報の発信を強化
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・社協(地区社協)だより、事業パンフレット及びホームページを活用し、福祉に関する情報を自治会の協力を受けて、住民に発信をします。・社会福祉法に定められた共同募金会の支会として、自治会などの協力を受けて、赤い羽根募金や大規模災害時の義援金などを集めると共に、福祉情報の発信をします。・福祉に関する情報や防犯に関することなど、民生委員児童委員の協力を得ながら発信します。

【共同募金運動】

赤い羽根をシンボルとした、民間の社会福祉活動を財政的に支援することを目的としている募金活動のこと。

集められた募金は、営利を目的としない民間の社会福祉団体・施設に配分される。民間の募金なので、柔軟な使い方ができる。

共同募金運動は、共同募金会以外の団体は行なってはいけないことや、運動の期間は厚生労働大臣が定める期間(毎年1回10月1日～3月31日)に限ることなどが、社会福祉法で定められている。



基本目標3

安全で安心して暮らせるしくみを推進します

施策7 避難行動要支援者への支援をすすめます

<市民の声>

市民アンケート
より

※東日本大震災で学んだこと、プラスだったこと、マイナスだったことを学習し、これからの地域の助け合いなどに活用していくこと。

地区懇談会
より

※向こう三軒両隣といわれるように常日頃から見守りを心がけることが一番よいことだと思う。



<社協の取り組み>

基本目標	災害時に備えた、地域の見守り活動を促進
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・大規模災害時に備え、地域の方にも参加を得ながら、災害ボランティアセンター設置に向けた様々な状況を想定した訓練を実施します。・災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しをすすめます。・行政組織が策定する災害時要援護者リスト整備に、民生委員児童委員と共に協力をします。

【災害ボランティアセンター】

災害時において必要とされる「災害ボランティア活動」をコーディネートする組織。災害ボランティアセンターの主な活動として、次のようなものがあげられる。

- 災害ボランティアの募集、受入及びコーディネートの実施
- 被害状況及び必要な災害ボランティア活動の内容などの把握
- 災害ボランティア活動に必要な資機材などの調達
- 災害ボランティアの安全管理
- 関係機関や団体との連絡調整

施策8 安全なまちづくり・防災防犯活動をすすめます

<市民の声>

市民アンケート
より

※災害時や身体の不自由な人たちが安心して通れるように道路整備をしてほしい。

地区懇談会
より

※防犯パトロールの強化。



<社協の取り組み>

基本目標

福祉に関する情報と共に、減災・防犯意識の周知

活動内容

- ・鎌ヶ谷市総合防災訓練に参加しブースを設けるなど、災害に対する心構えを啓発します。
- ・社協が保持する災害時用備蓄倉庫の備品を整備し、大規模災害時への備えを充実させていきます。
- ・市民、福祉関係者に減災や振込詐欺などの防犯に対する意識付け（チラシの配布、講演会など）をすすめます。
- ・災害ボランティア基金の充実に努めます。
- ・地域の特性に合った「見守りパトロール」活動を推進します。



施策9 孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます

<市民の声>

市民アンケート
より

※近隣のひとり暮らしや一人で介護をしている人たちに対する声かけなどができる体制があるとよいと思います。私は介護の経験がある友人に愚痴を聞いてもらうだけでしたが、助かりました。

地区懇談会
より

※地域の催しには近所の方に一声かけて一緒に誘うとよい。



<社協の取り組み>

基本目標	地域のネットワーク化による孤立者防止及び権利擁護などに係る事業の促進
活動内容	<ul style="list-style-type: none">• 地区社協事業への案内(電話、手紙など)や民生委員児童委員の活動を通じて、地域から孤立した世帯をつくらないようにします。(声掛け強化)• 日常生活自立支援事業の周知を図ると共に、サービスに対応する体制(支援員など)を整備します。• 成年後見制度の周知を図ると共に、専門家(弁護士、司法書士、社会福祉士など)による相談会を実施します。• 住み慣れた地域で、安心して暮らせるように、終活などのセミナーを実施します。

【終活】

人生の終末に備えた諸々の活動を「就活」に掛けてあらわした語。死を迎えるための準備として、お墓や遺言をはじめ死にまつわる事柄を自ら整理して用意しておくこと。



基本目標4

地域福祉を支えるネットワークを推進します

施策10 地域包括ケアシステムを推進します

<市民の声>

市民アンケート
より

※ご近所の人たちは、最後まで自宅で過ごしたいとおもっています。毎日の安否確認のために旗を出したり雨戸の開閉等を注意したりしようと意見が出ています。買い物や他の手助けなど「お互い様」でできることは支えあえる環境にあります。

地区懇談会
より

※親の介護で悩んでいます。家族を地域でサポートする方法はないでしょうか？(在宅介護)



<社協の取り組み>

基本目標	介護を予防する事業促進と在宅生活を支える支援者の育成
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ふれあいサービス研修会や介護者のつどいをとおして、在宅生活を支える人材を養成します。・地区社協で行うサロン事業の中で、認知症に関する啓発や介護予防となる軽体操やミニリハビリの充実に努めます。・地区社協などの地域ネットワークを活用し、地域包括ケアシステム確立に協力します。



第4章 地区社協の活動計画

1 地区社協設立の経緯

千葉県では、昭和60年度に「千葉県地域ぐるみ福祉推進計画」を策定し、昭和61年度より「地域ぐるみ福祉ネットワーク事業」として、地域に密着したきめ細かな福祉施策を推進することになりました。

社協では、当初10のエリアを地域福祉圏として、組織化を進めましたが、この小地域の活動を永続的に推進するために、平成3年に鎌ヶ谷市のコミュニティエリアに合わせて、6地区社協を公民館などに設置しました。

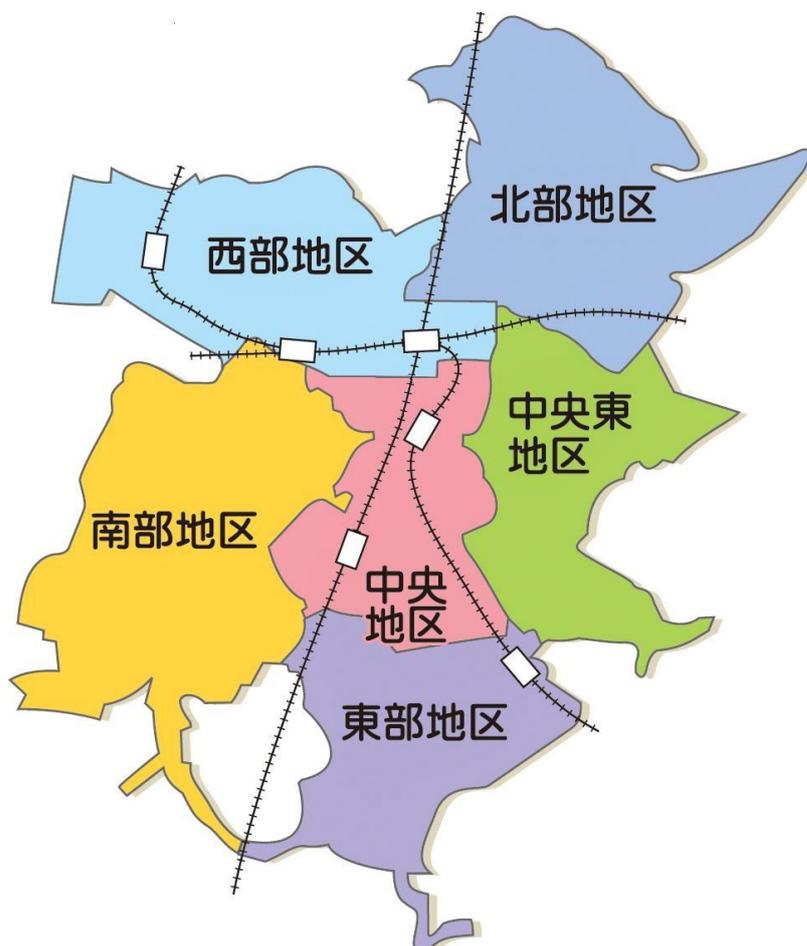
2 社協と地区社協の関係

地区社協は、地域の福祉課題について、自分たちで解決に向けて話しあい、お互いに協力しあう住民主体の組織です。

社協は、地区社協の事業費補助を行うほか、地区コーディネーターの研修及び情報の提供、地区相互間の連絡調整を行っています。



6 地区社協の区分図



市内 6 地区社協		
地区社協名	事務所	設立年月
中央地区社協	中央公民館内	平成3年4月
中央東地区社協	東初富公民館内	平成3年4月
東部地区社協	東部学習センター内	平成3年6月
西部地区社協	くぬぎ山コミュニティセンター内	平成3年5月
南部地区社協	南部公民館内	平成3年5月
北部地区社協	北部公民館内	平成3年5月

(1) 中央地区社会福祉協議会

現 状

①広報啓発委員会

- ・ 広報紙を年 2 回発行、福祉健康フェア、公民館まつりなどで、地区社協活動の啓発に努めています。

②ふれあい交流委員会

- ・ 70 歳以上の方を対象に、保健師による健康の話や体操、ゲーム、芸術鑑賞など交流を深める目的で「茶話会」を開催しています。

③在宅福祉委員会

- ・ 健康体操、講演会、ウォーキングなどを健康長寿事業の介護予防教室として行っています。地区の援護グループに依頼して、年 2 回ひとり暮らしの高齢者を対象に交流会を開催しています。

④ボランティア育成委員会

- ・ 運営委員を対象に、中央消防署にて普通救命講習、手話教室などのボランティア研修を行っています。
- ・ 地区の中学生と地域の方々がお互いの理解を深める場として、「鎌ヶ谷中学校 JRC 委員会と地域の方との交流会」を行っています。

⑤ふれあいサロン

- ・ お年寄りから小さなお子さんを連れのお母さんなど地域の方が、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指し、中央公民館で毎月 1 回開催しています。

⑥見守りパトロール

- ・ 4 委員会で月毎に担当。あいさつ運動を兼ねて、小学生の下校時間に合わせてパトロールを行っています。

課 題

- ・ 近年、高齢化、核家族化などにより、地域のつながりの希薄化が年々すすんでいます。地域で交流する場をつくり、見守りや支えあい、助けあいができるように、今までの事業内容を検討（精査）し、より充実させすすめていくことが課題です。

今後の活動

- ・ 地域の方たちが気軽に参加でき、お互い顔見知りになり、声を掛けあえるような事業をすすめていきます。
- ・ ふれあいサロンがこれからも地域の方のつどいの場であり、必要な情報を入力できるような場となるよう取り組んでいきます。

■ウォーキング■

「健康長寿を目指し、年3回鎌ケ谷市内を5～6kmウォーキング」



栗野の森を散策

■茶話会■

「2ヶ月に1回、70歳以上の方を対象にゲームや歌などで楽しい時間を過ごす」



ゲームで「輪投げ」

■鎌中JRC委員会と地域の方との交流会■

「鎌ケ谷中学校 JRC 委員会生徒と地域の方が遊びや各種体験などで交流を深める」



生徒 vs 地域の方との百人一首



茶道教室で抹茶を体験

■ふれあいサロン■

「毎月1回、公民館の学習室3で気軽につどえる場として開催（利用料100円）」



クリスマスのカードづくり

■見守りパトロール■

「毎月1回、黄色いジャンパー・ベストを着て、声かけしながらパトロール」



通学路をパトロール

(2) 中央東地区社会福祉協議会

現 状

①広報・啓発委員会

- ・広報紙を年2回発行、福祉健康フェアにはパネル展示で参加しています。
- ・ホームページを通じて、地区社協事業の啓発に努めています。

②ふれあい交流委員会

- ・高齢者、子ども、障がい者を対象に、参加者全員で会場作りをする手作りの「クリスマス会」を開催しています。
- ・地域との交流を目的に東初富公民館まつりに参加しています。

③在宅福祉委員会

- ・介護予防教室として「健康体操・ウォーキング講習」などを実施しています。
- ・援護グループのメンバーを対象に年1回勉強会を実施しています。

④ボランティア育成委員会

- ・「青少年福祉活動」として、地域の小学生・中学生に協力してもらい「手すきハガキ作り」で夏に作ったハガキを使って「年賀状」を作成し、75歳以上のひとり暮らしの方に送付しています。
- ・地域のボランティアの協力を得て、地域内の高齢者施設にて毎月1回「シート交換」を実施しています。
- ・地域の高齢者と小学生たちとの交流を目的とし、地域内小学校で「ふれあい会（昔あそび・給食）」を実施しています。

⑤サロン事業部会

- ・四季折々の行事を取り入れた内容で、地域内のどなたでも参加できるサロンを毎月1回翔裕園の交流スペースで実施しています。

⑥あじさいグループ部会

- ・毎月1回、脳卒中などの後遺症でからだの不自由な方を対象にミニリハビリ教室を開催しています。

課 題

- ・地域の高齢化に伴い、自治会（自連協）退会というピラミッド型の集約でできあがった組織形態が崩れ始めている今、「支えあう地域づくり」を行うにはどのような内容の事業を展開することが必要なのか、深く掘り下げて考えていくことが課題です。

今後の活動

- ・地区社協事業の1つ1つの内容について「本来の地域づくりとは？」という観点から見直し、各団体や自治会・行政機関などとも話しあい、協力しあって活動を展開します。



■クリスマス会■
参加者みんなで飾りつけ



■介護予防教室■
腰痛・膝痛予防のストレッチ体操



■サロン■
ペーパードレス作りに夢中



■ミニリハビリ教室■
機能回復を兼ねてゲームを楽しむ



■青少年福祉活動■
小・中学生の年賀状書き



■援護グループ勉強会■
2年に1回消防署でAED講習会

(3) 東部地区社会福祉協議会

現 状

①広報啓発委員会

- ・ 広報紙「ふれあい」を年2回及び号外を1回発行しています。
- ・ 東部ふれあい福祉まつり、福祉健康フェアでは地区社協活動の啓発に努めています。
- ・ 子ども見守りチラシを地区内に年3回発行し、子どもの安全確保を図っています。

②地域交流委員会

- ・ 高齢者の地域福祉と生涯学習の意識の高揚を図るため、東部ふれあい福祉まつりを毎年開催し、高齢者などの各種交流活動を推進します。
- ・ 地区内の小学校2校を対象として、移動児童館事業に協力しています。

③健康福祉委員会

- ・ 病気や事故などで軽度の障がいのある方や高齢者の方々を対象に、ミニリハビリ「ほのぼの会」を行っています。保健師による健康相談などを行っています。
- ・ 健寿事業として、ウォーキングなどを行い、健康増進、介護予防に努めています。

④育成研修委員会

- ・ 地区ふれあい員研修会を年1回開催しています。
- ・ 地区内でお互いに助けあうことを目的としたボランティア(ちょいボラの会)を通年でっており、登録者の研修会を年1～2回実施しています。

課 題

- ・ 今後、認知症、ひとり暮らしの高齢者、障がいのある方などの増加や地域の家族構成も大きく変化していくことが予想されます。これらの現状を踏まえ、孤立することのない、誰もが安心して暮らすことができるよう、地域の人々とふれあう機会のための「交流の場」を必要としています。
- ・ 日常生活の不便さを住民同士でどのように支えあうのか、今後のあり方の検討を進めます。

今後の活動

- ・ 高齢者世帯の増加や核家族化が進む中、見守りや支えあいのきっかけとなる「出合いや交流の場」を推進していきます。また、より安心して暮らせる住みよい地域を目指して、高齢者関連だけでなく、子どもの見守りから障がいのある方まで、地域のニーズや現状を共有し、活動できる協議機関として、小中学校関係者、地区内幼稚園、自治会関係者、警察署、民生委員児童委員、子育て支援センターなど関連団体へ呼びかけをしながら「東部地区懇談会」を開催し、より広範囲な連携を図ります。

▶ 広報啓発委員会 ◀

地区社会福祉協議会の福祉活動に関する広報紙「ふれあい」及び子ども見守りチラシを発行しています。



▶ 地域交流委員会 ◀

「ふれあい・まなびあい・支えあい」のある心豊かな地域づくりを目指し、地区内高齢者を対象とした東部ふれあい福祉まつりを開催しています。



▶ 健康福祉委員会 ◀

毎月開催するミニリハビリ「ほのぼの会」では、軽い体操やゲームを行い、交流を深め楽しく活動しています。



▶ 育成研修委員会 ◀

「手づくりおもちゃで遊ぼう」の体験を、地域のボランティアの指導で行っています。



▶ 東部地区懇談会 ◀

子ども達の支えあいの心を育て、考える場として、地区内の学校関係者、民生委員児童委員、警察署、自治会役員などが出席して毎年開催しています。



▶ ちょいボラの会 ◀

地域の中で思いやりのある住みよい地域を目指し、「できる人が、できる時に、できる範囲で」行う無料のボランティアです。



(4) 西部地区社会福祉協議会

現 状

①広報・啓発委員会

- ・ 広報紙を年2回、号外（地区社協年間計画）を年1回発行しています。
- ・ 福祉健康フェアなどで地区社協活動の啓発に努めています。

②地域交流委員会

- ・ ボランティア、地区ふれあい員の協力を得て、ふれあいまつりでは、もちつきを行っています。
- ・ 70歳以上の高齢者を招待し日舞や小中学校の演奏などを行っています。
- ・ 児童を対象とした昔あそび体験を児童センターと協力して行っています。

③在宅福祉委員会

- ・ 認知症予防のため、脳トレ、ゲームを行っています。
- ・ 高齢者支援教室として、認知症・健康・栄養などの勉強会を行っています。
- ・ 介護者などを対象にした、在宅介護者のつどいを行っています。

④ボランティア育成委員会

- ・ 地域の方々の健康作り体操の会を専門の先生を招いて行っています。
- ・ 健康増進ウォーキング、青少年育成の西部小学校講演（PTAとの共催）やボランティア育成研修事業などを行っています。

⑤その他

- ・ 70歳以上の高齢者を対象にミニリハビリを行っています。

課 題

- ・ 高齢化が進行するなかで、近隣住民同士のコミュニケーションが不足し、ひとり暮らしの高齢者をはじめとする住民同士の繋がりが希薄化していく中で、地域での支えあい活動を推進していく必要があります。
- ・ 「相談事業」を地区社協でどのように取り組んでいくのか、引き続き検討していくことが課題になっています。
- ・ 地区社協活動を地域の方々へさらにPRし、協働事業化していくことが必要と思われます。青少年育成では西部小学校に加え、第三中学校との協働、共催事業を模索します。
- ・ 運営委員の幅広い年齢層、男女の均一な活用を検討する必要があります。

今後の活動

- ・ 市との協力事業については継続していきます。
- ・ 近隣住民のさらなるコミュニケーション作りのため、多くの方々が参加する事業を継続します。
- ・ 学校、PTAを含め世代間交流や、自治会、民生委員児童委員などとの協働を進め、参加しやすい事業の強化を図ります。



【命の授業】

西部小学校PTAと共催し、5・6年生を対象に毎年講演会を開催しています。



【もちつき大会】

もちつきを通して、幅広い年代の交流を図っています。



【在宅介護者のつどい】

施設を利用して、介護についての講習を行っています。



【オレンジ交友会】

認知症予防に向けて、楽しく脳トレやゲームをしています。



【春のおたのしみ会】

70歳以上の高齢者を招待し、日舞や小中学校の演奏をお楽しみ頂きます。



【ウォーキング】

地域の方々の交流と健康維持のために、年に1回行っています。

(5) 南部地区社会福祉協議会

現 状

①広報啓発委員会

- ・広報紙を年2回発行し、地区社協活動展示パネルの作成を行っています。

②在宅福祉委員会

- ・ひとり暮らし高齢者を対象とした「バスハイキング」や談話室、地区リハビリ教室の方々と道野辺保育園の園児との交流を図る「秋のお楽しみ会」を開催しています。
- ・健康増進のため体操教室とウォーキングを実施しています。
- ・南児童センターと南部公民館との共催事業として、未就園児の親子を対象に「子育て支援①3B体操②人形劇③食育の講座」を開催しています。
- ・障がいのある方の引きこもり防止のために毎月「地区リハビリ教室さくら会」を開催しています。

③事業委員会

《災害時支援部会》

- ・防災倉庫の備品整備や災害時の支援ボランティア育成に努めています。

《地域交流部会》

- ・地域の方々を対象に四中グラウンドにて「グラウンドゴルフ大会」や南部公民館にて「南部いきいきサロン」を開催しています。
- ・老人クラブの交流の場として「南部芸能交流大会」を開催しています。
- ・福祉や防災に関する研修会を「南部ふれあいの集い」として行っています。
- ・南部公民館まつり、中部小学校のバザー、道野辺保育園、南児童センターで行われるバザーやお祭りに参加して交流を図っています。

《なんぶ孫の手会部会》

- ・ボランティア講座への参加やボランティアの育成と募集を行っています。また、ボランティアの交流会として年に1回のバス研修を行っています。

課 題

- ・地区社協事業への高齢者の参加が増えているが、南部地区は南北に長い地域のため、主に会場となる南部公民館への移動手段がなく、参加できない高齢者が多く見受けられます。事業によってはバスでの送迎ができればという希望もあります。
- ・ひとりでも多くの新規参加者を増やせるよう、事業内容の検討が必要と考えています。
- ・孫の手活動の地域への周知ができていないのではないかと、情報やサービスを本当に必要な方に届けるには、どのようにしたら良いのか模索する必要があります。

今後の活動

- 健康増進課などの協力を頂き、事業開催時のバスの送迎や保健師の派遣協力をお願いしていきます。
- 現状の活動を維持しつつ、内容の充実を図ります。
- 孫の手活動の普及のため、民生委員児童委員と協力して、地域への声かけを進めていきます。



(さわやかライフクラブの体操教室)



(秋のお楽しみ会のフォークダンス)



(子育て支援 食育講座)



(災害時支援部会による防災倉庫の点検)



(芸能交流大会で踊りを披露)



(南部ふれあいの集い 災害救助犬の訓練を実演)

(6) 北部地区社会福祉協議会

現 状

①広報委員会

- ・広報紙を年2回発行、北部公民館祭り、福祉健康フェアなどで地区社協活動の啓発に努めています。

②ふれあい交流委員会

- ・高齢者の閉じこもり防止を目的に、踊り、軽体操などで交流を図っています。また、ひとり暮らし高齢者を対象に、閉じこもり防止を目的とする交流バスハイキングを行っています。
- ・コミュニティセンター事業に協力し、昔あそびなどをとおして世代間の交流を図っています。

③在宅福祉委員会

- ・介護予防教室として、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に健康講座などを行っています。保健師、スポーツインストラクターによる運動なども行っています。

④友愛訪問

- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、品物をもって訪問し安否の確認を行っています。

⑤ボランティア育成委員会

- ・地域の方を対象に健康運動指導士による軽体操、医療講演会、健康講座、社会保険制度などの講座を行っています。

課 題

- ・ひとり暮らし高齢者を対象にバスハイキングを実施していますが、万一に備えて保険の内容の検討が必要となっています。
- ・介護予防教室を実施していますが、今後増加する高齢者によりよい介護予防教室を行っていくために、内容の見直しが必要となっています。
- ・東日本大震災を契機に、災害に対して、地区社協として何ができるか検討が必要となっています。
- ・高齢化の進展に伴い、身近で簡単なボランティア活動の促進が必要となっています。そのためには、困っている方にどのように意思表示をしていただくか、検討が必要となっています。

今後の活動

- ひとり暮らし高齢者が対象のバスハイキングに係る保険については内容を充実させ、参加者負担の参加費に組み込んでいきます。
- 介護予防教室については、一般市民からの要望もあがっていることを受けて介護予防教室の対象者の範囲を広げていきます。
- 災害についても、一人ひとりができる防災への備え、応急救急法に関連する講座などを開催していきます。
- 災害に備え備品の整備とその所在の周知に努めていきます。今後さらに災害備品を揃えていく際には内容を検討し、備品の使用方法を習得できるような機会を設けていきます。
- 身近で簡単なボランティア活動を促進するために、地区ふれあい員や民生委員児童委員から地域の方々に参加の呼びかけを相談し働きかけていきます。



健康体操

どなたでも参加でき、気軽に始められる体操です



おせんべい焼き

冬の日をわいわいおしゃべりしながら世代間交流します



ふれあいバスハイク

たまには外出してみましよう！
秋晴れの楽しいひと時を皆さんと



ふれあいお楽しみ会

踊りや軽体操、ビンゴ、ゲームなどで交流します



介護予防教室

いつまでも元気に！3B 体操で心身ともにリフレッシュ

第 5 章 各種団体の取り組み

- ボランティアセンター登録団体をはじめ、福祉関係 61 団体が平成 28 年度から平成 32 年度までの活動目標を立てました。

(1) ボランティアセンター登録団体

団体名	鎌ヶ谷市ボランティア連絡協議会		
設立年月	昭和 57 年 2 月	会員数	512
活動内容	ボランティア連絡協議会は、団体間の相互交流や親睦・ボランティア活動に役立つ情報交換・啓発をもって地域福祉の増進に寄与することを目的として活動しています。具体的な年間行事（事業）としては「障がいのある人との交流バスハイク」、「加入団体の活動発表」ほかに社会福祉協議会ボランティアセンターとの共催・協力事業も行っています。		
活動日・時間	隔月で運営委員会開催		
活動場所	鎌ヶ谷市内	ボランティア連絡協議会加盟 11 団体	
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	当会の事業などについて啓発が不足しています。個々の活動に忙しいため、当会への参加意思を示す団体がいませんでした。	前回の計画の成果など	加入団体の啓発につとめたが、加入する団体がいませんでした。
		目標達成率	50%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	上記の課題により、啓発のため団体活動紹介の冊子を作成し公共施設などに配布します。	継続活動	



団体名	鎌ヶ谷市友愛ボランティア		
設立年月	昭和52年 2月	会員数	67
活動内容	ひとり暮らしの高齢者へ月3回手作りのお弁当をお届けしています。旬の食材を使い、家庭の味をお弁当にして配食ボランティアが一軒ずつ手渡ししています。安否確認も兼ねています。年一回のチャリティーバザーで活動資金を作っています。		
活動日・時間	毎月3回（8月は2回）、午前9時～午後1時		
活動場所	総合福祉保健センター内	ボランティア連絡協議会加盟団体	
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	会員の高齢化に伴い、会員の増員と活動資金調達のPRが課題です。	前回の計画の成果など	年1回のチャリティーバザーが過渡期にきていますが、ボランティア連絡協議会の支援により大きな成果がありました。
		目標達成率	70%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	手作りのお弁当を無料で提供し、心のふれあいを大切にしながらかみよい地域社会を作りたいと思います。継続活動のために会員増強（30年度までに3名増員）。市民ボランティア体験受入れ体制を充実していきます。	継続活動するために会員の増強に努めます。（32年度までに会員数75名）。	



団体名	鎌ヶ谷朗読「はなしの小箱」		
設立年月	昭和55年 7月	会員数	22
活動内容	視覚障がい者・病気の方など音声訳が必要な方のために、録音物の作成、貸出を行っています。月2回「声の広報」、年3回「社協だより」、年4回「市議会だより」「身障だより」やタウン誌などの情報CD・小文字(ディジー)の作成、貸出及び録音図書の実成や対面朗読(予約)を行っています。音声訳技術向上のため、会員での勉強会(月2回)講師を招いての講習会(年6回)を実施しています。		
活動日・時間	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 第1、第3火曜日午前10時～13時 ・録音・ダビング・発送(随時) 		
活動場所	総合福祉保健センター内	ボランティア連絡協議会加盟団体	
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者拡大の困難さ 視覚障がい者専用の機器利用がうまく出来ない方や入院などで利用を中止する方がいました。 ・会員減少の抑止 高齢、病気などで退会が続き、新加入者が少数なため会員数が減少しています。福祉健康フェア、ボランティア体験などの機会の他にもPR活動方法を検討します。 	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン録音は、23年9月研修開始し、機材・貸出方法など検討を重ねた結果、翌24年10月からCD発送することができました。 ・音声訳技術向上のための講習会では、新しく講師を迎え二人の先生に学び実践しています。 ・ベテラン会員が多く退会し、各自の負担が多くなりました。皆120%の力を発揮しました。
			目標達成率
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続活動 ・利用者拡大と会員の増員・音声訳表現力の向上 ・パソコン録音操作技術の向上(プレストークDR-1) ・市の情報などをお届けするため、質の高い音声訳CDを作成。 ・対面朗読 ・市の関係部署との連携を強化し相互協力 	28年度～30年度の活動を継続しつつ、実働力を高める会員育成を行い、会の活動を更に活発、安定化していきます。	

団体名	鎌ヶ谷点訳友の会		
設立年月	昭和53年 3月	会員数	23
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個人、団体からの依頼点訳。市立図書館へ点訳図書の寄贈。点訳図書のデータを視覚障がい者ネットワーク「サピエ図書館」に提供しています。 ・市内小学校の福祉講座や市民体験講座などでの点訳教室を開催しています。 ・選挙における点字投票の判読依頼を選管より受けています。 		
活動日・時間	毎月第1、第3金曜日 10時～12時		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	サピエ図書館に点訳データを提供する中で、点訳の完成度がさらに求められます。会員相互の研鑽が必要と思われます。	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・サピエ図書館に点訳データを継続的に提供できました。 ・小学生や市民の方々に点字教室を開催できました。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	基本的には現在の活動の継続です。様々な点字教室を通じ点字の普及に努め、また時代のニーズに合わせ利用者の方々の要望に応えられるように技術の向上に努めたいと思います。	点字普及に努め、市民の方々の点字に対する認知度が深められていければと思います。	

団体名	鎌ヶ谷市赤十字奉仕団		
設立年月	昭和48年 4月	会員数	480
活動内容	市内14か所に分団があります。分団員は意欲的に救急法、家庭看護法、幼児安全法などの技術習得の講習を実施し、地域に密着した活動をしています。また老人ホームへの奉仕活動、社資募集を行っています。		
活動日・時間	定例会:毎月第3木曜日、船橋献血ルーム:毎月火曜日、慈祐苑:毎月火曜日、翔祐園:毎月第1・3金曜日、松戸献血ルーム:毎月木曜日、シルバーケア:毎月第4金曜日午後2時～4時		
活動場所	船橋・松戸献血ルーム、老人ホームなど	ボランティア連絡協議会加盟団体	
その他	定例会 第3木曜日 午後		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	今後も地域に密着した活動をテーマに活動をしていきたいです。	前回の計画の成果など	地域や団体のニーズに答えた活動ができました。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	子育て支援の一環として、パパ・ママ講習会の普及を図り、若い人に赤十字活動への理解を深めるように努力したいと思います。	青少年赤十字との連携を密にし、若い人に赤十字への参加と理解を深めるように努力したいです。地域に密着した活動をしていきたいです。	

団体名	鎌ヶ谷市手話サークル「みどりの会」		
設立年月	昭和53年 3月	会員数	69
活動内容	鎌ヶ谷市聴覚障害者福祉会と活動を共にし、聴覚障がい者への理解を深める活動をしています。 ・定例会・研修会・交流会、広報「みどり」発行、手話教室を開催しています。 ・市・市社会福祉協議会などの行事に参加・協力しています。		
活動日・時間	夜の部)毎週水曜日午後7時～9時 昼の部)毎週木曜日午前10～12時		
活動場所	総合福祉保健センター内	ボランティア連絡協議会加盟団体	
その他	「千葉県ろう重複障がい者施設をつくる会」のカンパ活動を行います。「千葉県手話サークル連絡会」などと連携して活動しています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	手話を広めるための出前手話教室のチラシ配布をしていますが、小中学校を対象とした場合は教育委員会のご協力を頂けるとありがたいです。防災関係の取り組みについては、防災訓練などに参加し、地域の人たちに積極的にアプローチする必要を感じています。	前回の計画の成果など	防災訓練は当初、聴覚障害者福祉会と手話サークルでしたが、現在は中難協、要約筆記サークル、手話通訳者協会、要約筆記者協会も加わり6団体。この6団体を「見る情報連絡会」と称します。この6団体で共通の防災マップを作製しています。
		目標達成率	70%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえない方々との交流を深めるため「ミ交流会」を相互に提案し実行します。 毎月発行の広報を通じ手話の広がりを期待しているが、さらに若い人たちに手話サークルに関心をもってもらう為に「ブログ」を立ち上げアプローチします。 継続中の各種行事を通じ、必要に応じた活動にも取り組みます。 	継続活動	

団体名	明るい社会づくり鎌ヶ谷市推進委員会		
設立年月	昭和51年 11月	会員数	80
活動内容	自らの生き方を正し、社会を明るくしていこうという志を同じくし、社会の一隅を照らすことができる仲間作りを目指しています。 ・市内福祉施設での奉仕（毎月除草作業など） ・「こどもに学ぶ家庭教育」ミニ講座の開講（毎月市内各所） ・街頭募金活動（歳末たすけあい募金並びにユニセフ募金（毎年市内2か所））		
活動日・時間	不定期		
活動場所	鎌ヶ谷市内	ボランティア連絡協議会加盟団体	
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	それぞれの活動について、更なる創意工夫を凝らして、参加者数及び参加者層の拡大に向けてより一層の努力を要すると考えています。	前回の計画の成果など	毎年総会で決定された諸活動については、着実に実行する事ができ、最も重要である活動の継続性を堅持することができました。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続的な活動を維持していくためにも、次代を担う若年会員の発掘と育成に取り組んでいきます。そのため若年層が「参加しやすい」あるいは「参加したくなる」メニューの開発が急務と考えています。	継続活動	



団体名	鎌ヶ谷ボランティアサークルきんぎょ草の会		
設立年月	平成3年 4月	会員数	17
活動内容	南部公民館横の土地に花壇を作り、花を育てています。咲いた花は皆さんに鑑賞していただいています。また、鎌ヶ谷市友愛ボランティアを通じて、高齢者に花束のプレゼントをしています。		
活動日・時間	毎月第1、第3水曜日 午前9時～12時		
活動場所	南部公民館		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	ボランティアセンターや、地域の花作りをしている方を通じ、花の苗や花の種をいただき、花が増えました。会員の皆さんが高齢化しているのが課題です。	前回の計画の成果など	天候に左右されるので、今年は雨が多く、花が少なかったです。ボランティア募集で、メンバーが2名増えました。
		目標達成率	70%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	花作り活動に関心が持てるように見学会や体験会などを開催し、活動を継続していきます。市民ボランティア体験受入れ体制を充実します。(平成30年までに3名増員)	継続活動	

団体名	鎌ヶ谷おもちゃの図書館「あ・そ・ぼ」		
設立年月	平成7年 8月	会員数	22
活動内容	親子がおもちゃを通じて自由に遊び、ふれあう場所を提供しています。また、おもちゃの貸し出しや壊れたおもちゃの修理もしています。		
活動日・時間	毎月第2、第4土曜日、午後1時～3時30分		
活動場所	総合福祉保健センター4階 遊戯室	ボランティア連絡協議会加盟団体	
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのあるお子さんにも、もっとたくさん遊びに来てもらえるよう、今後も考えていきたいと思います。 スタッフの高齢化が心配です。 	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> 開館日に合わせ、おもちゃクリニックを併設したところ利用者が増えました。 大学生、高校生、中学生、小学生のボランティアに来てもらえる様になりました。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	おもちゃの図書館を知らない方も多いので、今後もPRに努めていきたいです。	継続活動	

団体名	おたよりぶんぶん		
設立年月	平成3年 1月	会員数	21
活動内容	鎌ヶ谷市の特別養護老人ホーム「慈祐苑」の入居者全員に季節のお便り（絵手紙、切り絵など）を差し上げています。毎月1回定例会では、割当や勉強会を行っています。11月には慈祐苑を訪問し入居者と一緒に年賀状作りを実施しています。		
活動日・時間	第3水曜日 午前10時～12時		
活動場所	中央公民館		
その他	中央公民館まつりへの参加、会員相互の親睦会		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	会員の高齢化や家族の介護などで会員が減少し会員の負担が増えました。活動のマンネリ化を避けるようにしたいです。	前回の計画の成果など	入居者や家族からのお返事に励まされて活動することができました。
		目標達成率	70%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	会員を増員し、今後も活動を継続していきたいです。中央公民館まつりなどを利用し、会員の増員を図りたいです。	継続活動	

団体名	「ふみの会」		
設立年月	昭和61年 1月	会員数	22
活動内容	毎月、市内在住75歳以上の高齢者に四季を通じての絵手紙を送っています。		
活動日・時間	毎月第2木曜日 午前10時～午後3時		
活動場所	鎌ヶ谷橋自治会館		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	高齢化がすすむ中、絵手紙の文章もわかりやすく工夫し、励ましができるようにしてきました。今後は、郵送している方のみではなく身近にいる高齢者の方にも声かけをしたいと思います。	前回の計画の成果など	活動計画はほぼ予定通り達成したと思います。潤いのある細やかな心情をお届けすることによって、より楽しい親しみやすいお便りが工夫できたと思います。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動 高齢者の人達との心と心のつながりを持てるような、内容を工夫していきたいと思います。	継続活動 心のゆとりとしての絵手紙を通して、情味ある交流が持てるよう更に役立てていきたいものです。	

団体名	保育サークル「コアラの会」		
設立年月	昭和62年 9月	会員数	11
活動内容	子育て中のお母さんが安心して講座や講演会に積極的に参加できるように子どもの保育をお手伝いしています。 (もぐもぐ教室、すこやかクッキング、家庭教育セミナーなど)		
活動日・時間	第2水曜日 午前10時～午後2時 定例会		
活動場所	粟野コミュニティセンター		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	楽しく、安心安全な保育を心掛けて活動していますが、会員が60代～80代となり、年々活動が困難になっています。	前回の計画の成果など	楽しく、安心安全に活動することができました。
		目標達成率	100%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動をしていきたいと思えます。保育人数が多い場合は、主催される課よりお手伝いをお願いし協力していただきながらの活動になるかと思えます。	継続したいと思えますが、会員の年齢、家族の事情など今以上に活動が困難に思われます。	

団体名	鎌ヶ谷ボランティアサークルたんぽぽ		
設立年月	昭和60年 1月	会員数	12
活動内容	市内の施設に入所または通所中の障がい者や高齢者への奉仕を目的に、日用品(布製品)の作成・修理を行っています。 また、障がい児・保育園児のための、布製おもちゃ作りや修理などを行っています。		
活動日・時間	毎月第2・4月曜日午前10時～午後3時(8月・年末年始休み)		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	安価なおもちゃなどの製品が多く出回るようになり、障がい児、保育園児のためのおもちゃ作りの依頼が減少しています。	前回の計画の成果など	会の活動を高齢者施設や保育園など、会員それぞれが活動のPRを行う中、少しずつ日用品作成などの依頼が増えてきました。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	今後も機会をみて、活動を知ってもらえるよう考えていきます。	継続活動	

団体名	やろう会		
設立年月	平成10年 11月	会員数	17
活動内容	ボランティア活動を通して地域社会の福祉・環境に貢献しています。 ・施設を対象とした活動 9施設 ・既存のボランティアグループの支援		
活動日・時間	定例会：毎月第4火曜日午前		
活動場所	市内各施設・個人宅など		
その他	個人宅の草取りなどもしています。		
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	鎌ヶ谷市整理ボランティア コスモスの会		
設立年月	平成13年 4月	会員数	13
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み切手の収集・整理を行い、その活動を通じて心のふれあう社会をつくるために活動しています。 ・売り上げの一部を、福祉団体(障がい者などを支援しているサークルや施設など)へ寄贈をしています。 ・会員同志の研鑽・親睦を図っています。 		
活動日・時間	定例会：毎月第2月曜日午前10時～12時		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	協力していただける回収ボックスの数は減少しなかったものの、定期的に設置場所の見直しが必要と考えています。同様な活動をしている他の団体との情報交換など活動の展開を検討していくべきかと考えています。	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年大口の寄贈をされる団体や個人のおかげで、整理活動を支障なく順調に推進することができました。 ・整理品現金化の新ルート開拓ができました。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	絵手紙の会		
設立年月	平成 13 年 4 月	会員数	18
活動内容	会員同士の親睦を深め、高齢者に絵手紙を指導してふれあいを高めています。		
活動日・時間	毎月第3水曜日 午後 2 時～4 時	ボランティア連絡協議会加盟団体	
活動場所	東部学習センター		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	鎌ヶ谷市更生保護女性会		
設立年月	昭和 61 年 3 月	会員数	25
活動内容	女性の立場として、母親の立場としての更生保護を行っています。青少年健全育成として、子育て支援とミニ集会、市内 6 年生にしおり人形を送る、お絵かきホゴちゃん、社会参加活動、広報紙発行を行っています。婦性会への援助他団体との協力と連携		
活動日・時間	役員会、定例会、広報部会		
活動場所	生涯学習推進センター		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	会員の高齢化	前回の計画の成果など	前回の計画“親子教室の開催”を変更し、更生保護について理解を深め、考えるきっかけとすることを目的として、子どもたちに更生保護のマスコットキャラクター「更生ペンギンのホゴちゃん」の似顔絵を描いてもらう「お絵かきホゴちゃん」を実施することができました。
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	しおり人形の作成、お絵かきホゴちゃん、社会参加活動の充実と若い会員の増員を目指します。	若い会員の増員を目指します。	

団体名	東葛鎌ヶ谷福祉会		
設立年月	平成 14 年 8 月	会員数	93
活動内容	リハビリダンス、いきいき脳トレ麻雀、福祉施設への支援（環境整備として外回り草取りなど）、鎌ヶ谷市こども発達センターでの育児保育のボランティアなどさまざまな活動をしています。		
活動日・時間	各指定日曜日	ボランティア連絡協議会加盟団体	
活動場所	特別養護老人ホーム翔裕園、介護付有料老人ホーム・リーベン鎌ヶ谷、鎌ヶ谷市子ども発達センター（のびのびルーム）		
その他	活動が広範囲にわたってきているので組織的運営に努めていきたい。会員の健康増進活動として、歩こう会（月に 1 回）とグラウンドゴルフ（月に 2 回）を行っています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	鎌ヶ谷市ボランティア連絡協議会加盟団体と連絡を取りながら、スキルアップを図っていききたい。	前回の計画の成果など	ボランティア活動をより充実したものにするには、参加者の増加が課題になります。お互いに助けあう気持ちを全面に出して鎌ヶ谷市全体でボランティア参加者を増やしたいです。
		目標達成率	75%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	ボランティア活動を通じて、鎌ヶ谷市が安心・安全で魅力ある街になるように、地域社会及び福祉施設などに寄与するとともに、会員相互の研鑽、親睦、健康の増進を図っていきます。		鎌ヶ谷市ボランティア連絡協議会活動に積極的に参加し、施設でのボランティア活動を増やしていきたいです。



団体名	鎌ヶ谷市レクリエーション協会		
設立年月	平成6年 6月	会員数	30
活動内容	毎月役員会を開き協議し「明るく！元気に！楽しく！喜んで！」をモットーに事業を実施しています。市内小学校では昔遊びを行っています。公民館・商工会・社協の依頼に応じて簡単なゲーム・ニュースポーツ・クラフトを展開しています。市役所(市民まつり・福祉健康フェアなど)・日ハム球場の事業にも参加しています。21年8月から市の協働事業(こども支援課・公園緑地課・生涯学習課)として“あそびのプレイパーク”を実施しています。		
活動日・時間	役員会：毎月第2土曜日午前10時～12時		活動：随時
活動場所	市内公共施設など	ボランティア連絡協議会加盟団体	
その他	年間を通じて多岐の要望に応じて活動しています。レクの展開を通して明るい街づくりへ貢献します。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	要請に応え得るスタッフ増員、スタッフ研修の充実など、若い会員数を増員し、ボランティア活動の充実が課題です。	前回の計画の成果など	全要請に応え得ることができました。“あそびのプレイパーク”では年6回で2,000人以上の参加者があり目標を達成しています。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	市内小学校での昔遊びを継続します。市内イベントに積極的に参加します。公民館事業の手伝いや“あそびのプレイパーク”の活動を継続します。会員数増員を目指します。	“あそびのプレイパーク”事業を継続実施していきます。他、左記の事業を継続していきます。会員数増員を目指します。	



団体名	シニア・ピア・なごみ		
設立年月	平成 15 年 10 月	会員数	47
活動内容	市内の高齢者福祉施設及び高齢者個人宅に定期的に訪問し、高齢者の悩み・寂しさ・不安の相談やお話し相手をする、相互扶助の活動を行っています。また、会員のスキルアップとピアカウンセリングをする定例会・講演会を実施しています。		
活動日・時間	施設・個人宅訪問：毎月 月～金曜日午前 10 時～ 定例会：毎月第 4 金曜日午後 1 時 30 分～		
活動場所	定例会：きらり市民会館 3 階 施設：慈祐苑・幸豊苑・翔裕園・初富の里・シルバークラブ・個人宅 18 カ所	ボランティア連絡協議会加盟団体	
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	高齢者・個人宅での活動が縮小し、訪問箇所が増えない。新規訪問先は毎年 7～8 カ所増えているが、病死や施設に移動する人が多く(40件前後)全体としては減少しています。2年に1回開催している「傾聴ボランティア養成講座」は今回第7期となりますが、申込み人数が減って定員(40人)の半分以下となり費用をまかなえず、赤字が続いています。	前回の計画の成果など	活動人数は順調です。「養成講座」も継続していますが、参加人数が少ない状態です。定例会・講習会も順調です。(災害ボランティア教育も浸透しています。)
		目標達成率	85%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動を継続します。 ・経費の心配があるので、年会費の増額か援助会員制を導入するか検討しています。 	継続活動	



団体名	鎌ヶ谷市要約筆記サークル「あいあい」		
設立年月	平成16年 6月	会員数	16
活動内容	聴覚障がい者の方の福祉向上、社会参加のための情報保障を目的に活動しています。また、要約筆記技術向上のための学習と、文字(要約筆記)による情報保障のための研鑽を実施しています。		
活動日・時間	毎月第1水曜日・第3木曜日の午後1時～(変更の場合あり)		
活動場所	総合福祉保健センター内		
その他	千葉県内の要約筆記サークル連絡会(千要連)に加入し、県内の中途失聴者・難聴協会との行事などに参加協力しています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	聴覚障がい者の方(特に中途失聴・難聴者)の話せても聞こえないことを更に市民に対し啓発していきたいと思ひます。要約筆記に関わるサークル会員の増加が課題です。	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の技術向上を図り、要約筆記への理解を深め広めていきたいと思ひます。 ・少しずつ広がってきたように思ひます。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	ひまわりの会		
設立年月	平成20年 4月	会員数	12
活動内容	高齢者施設にて使用するウエスのカットの他、施設での行事などの手伝い・将棋や囲碁の相手など、施設利用者や独居老人とのふれあい活動を展開しています。		
活動日・時間・活動場所	幸豊苑：第1水曜・第3金曜午後 慈祐苑：第4水曜午後		
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	ゆうゆう四季の会		
設立年月	平成 15 年 6 月	会員数	24
活動内容	福祉作業所・盲導犬を普及させる会・市身障センター講座・障がい者スポーツ支援などを中心に行っています。また、小中学校の福祉講座講師派遣事業などに協力しています。		
活動日・時間	依頼内容による		
活動場所	施設など	ボランティア連絡協議会加盟団体	
その他	会員相互の研修と親睦(春夏秋冬)行事を行っています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> 市身障センター講座支援など増え、活動日数も多くなり順調に推移していると思います。 活動日数が増えているにもかかわらず、前期より会員増強に取り組みつつも、会員減、高齢化が進み大きな課題を抱えていると思います。 	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> 会員の入れ替わりがあることを踏まえ、「福祉講座」の内容確認・徹底を図るため、勉強会を実施しました。 会員減少気味ですが、「福祉講座」に対応すべく資格を持った会員が増え、質の増強になっています。
		目標達成率	80%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 会員の増強（3 名位増） 継続活動と共に、できるボランティアを積極的に取り組みたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 会員の増強（3～5 名位増） 継続活動と共に、できるボランティアを積極的に取り組みたいと思います。 	



団体名	鎌ヶ谷災害救援ボランティアネットワーク		
設立年月	平成 21 年 5 月	会員数	30
活動内容	本会は災害時に地域に貢献できるように災害に関する訓練・学習を行い、その成果を基に地域からの要請に基づいて防災訓練・防災講座に出向いています。		
活動日・時間	月 1 回勉強会、講座など随時対応		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> 我々自身のスキルアップのために更なる深い研修の必要があります。 求めに応じた「受けの講座」こちらからの「仕向け講座」の必要があります。 	前回の計画の成果など	求めに応じた出前講座は着実に増え、それらを通じて各地自治会の方々との面識も増えてきました。
		目標達成率	70%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 新規会員の開拓及び会員自身のスキルアップを図ります。 こちらからの「仕向け講座」の開発を行い取り組みの増加を図ります。 従来からのボランティアセンター立ち上げへの協力及び地域からの要請による「出前講座」を積極的に行います。 	28 年度～30 年度の目標は短期間で成し遂げられないと思われますので、そのまま継続目標で取り組みます。	



団体名	鎌ヶ谷車いす点検整備ボランティアの会		
設立年月	平成 25 年 11 月	会員数	17
活動内容	車いすを利用している方々に、安全、清潔、快適な車いすを提供するために、車いすの点検整備を行っています。 現在、鎌ヶ谷市社会福祉協議会、鎌ヶ谷市役所（高齢者支援課、障がい福祉課）、6 地区社会福祉協議会、特別養護老人ホーム翔裕園、慈祐苑が保有する車いすに対して、点検整備を行っています。		
活動日・時間	毎週木曜日 午前 9 時～12 時		
活動場所	総合福祉保健センター内、各施設など		
その他	市民活動推進センター公益市民活動団体としても団体登録し、会の活動をアピールしています。		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	車いすの点検の重要性を理解してもらおう活動を行い、この活動に参加する会員を増やし、個人で使用している車いすにも点検を行える体制づくりを行います。（30 年度までに 8 名の会員を増員し 25 名の体制を作ります。） また、会員のスキルアップを行い、より安全、清潔、快適な点検が行えることを目指します。	32 年度までに 30 名以上の会員数を目指します。会員数と会員のスキルを見つつ、活動の場を広げていきます。現在は、2カ所の特別養護老人ホームで活動していますが、他のホームからの要望が多いため、会の体制を整えば、活動の場を広げていきます。	

団体名	駅前つくも会		
設立年月	昭和 60 年 4 月	会員数	16
活動内容	70 歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に年 2 回（七夕祭り、クリスマス会）の集まりで楽しんで頂くための会です。 他の活動として、年賀状を差し上げています。		
活動日・時間	定例会 3 回、開催日の前日		
活動場所	道野辺コミュニティセンター		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	つくも会の活動を通して、参加者の方から一部マンネリとの意見があり、今後は、マンネリ化の解消が課題です。	前回の計画の成果など	会員としては毎年従来通りの計画で実施していますが、参加者の方々は日頃、お会いできない方同士で、楽しんでいる様子が見えます。
		目標達成率	70%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	つくも会の活動を地域の皆様に知って頂き、地域福祉活動に協力して下さる方を増やすよう努力していきます。	ひとり暮らしの方が安心して暮らせるようなあたたかい地域づくりと見守りを継続していきます。	

団体名	富岡むらさき会		
設立年月	平成3年 11月	会員数	15
活動内容	地域のひとり暮らしの高齢者（満70歳以上）との交流会です。屋内での交流会で、保健師による血圧測定や健康相談、工作、昼食会、ゴロ卓球、ビンゴゲーム、歌唱で楽しめます。		
活動日・時間	6月、10月、3月の年3回、1回約3時間30分		
活動場所	まなびいプラザ		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	70歳以上のひとり暮らしの方が増加傾向。年々参加人数が増えています。	前回の計画の成果など	毎回、参加した方々に楽しんで頂くことができました。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	今までのプランとほぼ同じ計画で実施を予定しています。	スタッフの高齢化に伴い、若い方々の参加・協力を望んでいます。	

団体名	町組アシスタンスグループ		
設立年月	平成3年 9月	会員数	18
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、地域高齢者との親睦会を実施しています。 ・バラの会では、月2回、高齢者の方と気楽に集まり、お互いの親睦をしています。 ・月1回、学童に対する見守りパトロールをしています。 ・年に数回自治会と協力し、東北支援事業をしています。 ・老人ホーム（ききょうの家）への訪問活動をしています。 		
活動日・時間	10時～3時まで		
活動場所	自治会館、老人ホーム		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	もう少し新しい方に参加してもらおうことです。	前回の計画の成果など	活動内容に対して、楽しく行うことができました。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	南初富あゆみ会		
設立年月	平成3年 11月	会員数	24
活動内容	ひとり暮らしの高齢者（現在は71歳以上）の方々と、春にお花見・散策、初夏に七夕の集い、冬にクリスマス会を行っています。日常的にひとり暮らしでも地域の中でつながりが持て、安心して生活ができますように見守っています。また、会の中では親睦を兼ねて体験会、研修会を開いています。		
活動日・時間	不定期。年1回の総会時に年間計画を立て決定します。		
活動場所	中央公民館・南初富コミュニティセンター		
その他	秋には、南初富連合自治会体育大会に参加し、ひとり暮らしの高齢者をご招待しています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	特に課題らしき事は見えてきてはいませんが、ひとり暮らしの高齢者が増え、会場の大きさにより参加していただく人数に限りが生じてきています。	前回の計画の成果など	参加して頂いた方々より、「いつも楽しみにしています」と伝えられるので、それなりの成果があると思っています。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	更に交流が深まり、充実した内容を目指していきます。ひとり暮らしの高齢者の方の日常生活圏が広がっていくような活動を検討していきます。	皆が顔見知りになり、気楽にお声が掛けられるように活動していきます。	



団体名	東第一区在宅福祉援護グループ竹のこ会		
設立年月	平成4年 4月	会員数	18
活動内容	区域内に居住しているひとり暮らしの高齢者（おおむね70歳以上）の世帯を対象とした福祉活動の一環とし「お楽しみ会」などを開催しています。不定期に年2回～3回		
活動日・時間	お楽しみ会開催日の前後に各2日間程。		
活動場所	鎌ヶ谷コミュニティセンター・東部集会場		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	参加して下さる対象も高齢ですが、会員も高齢者で、車の運転も自転車に乗ることもできない人が多くなり、行事の開催場所も会議をする場所も確保することが大変です。	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会（毎回保健師さんにも参加していただく） ・連合自治会祭りへの協力 ・敬老会に協力など喜んでいただけたと思います。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	東第一区連合自治会が解散したため夏祭り（竹のこ会として出店）の資金もなくなり、助成金もなくなったので、竹のこ会としてお金をかけない敬老会を主催できるように考えていきたいです。	継続活動	



団体名	東武援護グループ（こだま）		
設立年月	平成4年 7月	会員数	16
活動内容	東武住宅地の73歳以上の方（およそ500名）を対象に親睦会、講和、勉強会などを開催しています。また、屋外では、公園での軽スポーツやバス旅行など活動しています。 高齢者には、外出や人との出会いの場を提供し、健康で明るい日々を過ごせるように努力しています。		
活動日・時間	年間活動計画により、実施は昼間、会議は主に夜間に行っています。		
活動場所	東武鎌ヶ谷集会場、公園 他		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> 対象者が増えたため、71歳以上を73歳以上に変更しましたが、その中で参加する方が限られて、また、参加人数もいくらか減少傾向です。 スタッフも同様に高齢化し、前回と同じスケジュールでの活動が難しくなってきました。 	前回の計画の成果など	年間計画について、ほぼ予定通りに実施できました。 参加された方々が、楽しみにして下さり、好評でした。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	基本的には、現在の活動を続けて行きたいと思います。 ご案内する対象者の見直しを行います。	集会所の建て替えがおこなわれます。（平成30年3月完成予定） 新しい集会所で、気軽に立ち寄れるサロン活動的なことができればと思います。	



団体名	南初富東あゆみ会		
設立年月	平成3年 11月	会員数	22
活動内容	65歳以上のひとり暮らしの高齢者と70歳以上の高齢者世帯の方々 と新年会・お花見会を行っています。またひとり暮らしの高齢者の 方々とのバス旅行・自治会の運動会に参加したり、年賀状を差し上げ たりと親睦と交流を図っています。 会員の資質向上のための研修会などにも参加しています。		
活動日・時間	年間活動計画に基づき活動をしています。		
活動場所	翔裕園・社会福祉センター		
その他	地域イベントに模擬店を出店し、会員の親睦と会のPRに努めていま す。		
前回の計画 を振り返り、 見えてきた 課題など	行事への参加者が多く、会場の 確保が困難になっていくので はないかと懸念しています。 近々対象者の検討が課題とな りそうです。加えて、活動会員 の高齢化が進み新会員の確保 が急務です。	前回の計画 の成果など	年々行事への参加者が 増えています。 「楽しかった」「美味 しかった」「たくさん 笑った」「いつもあり がとう」の言葉をきっ かけに交流が深まりま した。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	現在の活動を継続していき たいと思います。	左記に同じです。	

団体名	道野辺つくも会		
設立年月	昭和63年 4月	会員数	24
活動内容	ひとり暮らし高齢者の支援活動（七夕まつり、クリスマス会他）を中 心にひとり暮らしの方を訪問し、行事のお誘いをしています。		
活動日・時間	年度行事計画通り行います。		
活動場所	道野辺第一区自治会館		
その他	地区社協の事業に協力しています。		
前回の計画 を振り返り、 見えてきた 課題など	活動を通して、高齢者とのふれ あいが増え、会員も増えまし た。そのため、活動場所が手狭 になり、場所探しが課題です。	前回の計画 の成果など	参加者が増え、交流の 機会を3回にすること になりました。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	内容の充実を目指し、活動を継 続します。	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの高齢者の支援活動を充実させ、参加者が楽しめる活動を継続していきます。 会員を5名増員します。 	

団体名	すずらんの会		
設立年月	平成4年 6月	会員数	13
活動内容	70歳以上の高齢者または65歳以上の軽度の疾病や障がいのある方を対象に友達づくりをしています。 また、保健師による、血圧測定、健康相談、ミニリハを兼ねた体操やゲームなどを行っています。		
活動日・時間	毎月第1水曜日 午前10時～午後2時		
活動場所	くぬぎ山自治会館		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	参加者が年々増え、会場が狭くなり新規参加者の要望に応じられない状況になりつつあります。 現在、参加者50～60名	前回の計画の成果など	「次回の参加日を楽しみにしている」「とても待ち遠しい」などの声が多く聞かれ、一応の成果を実感しています。
		目標達成率	90%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	従来より男性会員も増え、多くの方々に参加して頂けるように工夫しながら活動を継続していきたいと思えます。	これからの高齢化社会に求められているものを、すばやく察知し、対応できるように健康面、知識面、娯楽的な事を取り入れながら努力をしていきます。	

団体名	馬込沢ボランティア		
設立年月	平成元年 4月	会員数	13
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・慈祐苑にて「おむつ」たたみ ・南部地区社協の事業に協力（慈祐苑の花見、夏祭り、車イス介助など） ・馬込沢自治会内の高齢者（70歳以上）との懇親会 ・打ち合わせ会・総会 		
活動日・時間	毎週月・木曜日 午前中 年2回高齢者との懇親会、年4回打ち合わせ会、総会		
活動場所	特別養護老人ホーム慈祐苑 馬込沢自治会館		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	◎会員が増えない。 ・13名のうち70歳以下は3名しかいない。 ・自治会世帯数約290弱、70歳以上238名（平成28年7月7日現在） ・高齢者がいる割に懇親会に出席する人は少ない。（30名で会館は満員になる。） ◎楽しみにしている人がいる限り続けたい。	前回の計画の成果など	・おむつたたみは2人1組で行っているため、ほぼ達成している。 ・地区社協事業に対しては、車イス介助なので、半分くらいしか協力できなかった。
		目標達成率	70%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	ボランティアの年齢が高くなってきているので、いつまで続けられるかわからない。	未定	

団体名	愛国・受所つくも会		
設立年月	昭和63年 2月	会員数	24
活動内容	地域のひとり暮らしの高齢者との交流を通じて、見守り活動をしています。（誕生日のお花のプレゼント、七夕祭り、新年会、年賀状の発送などで会員と高齢者との交流）		
活動日・時間	定例会 偶数月第3金曜日 午前10時～12時、年2回高齢者との交流会		
活動場所	北中沢コミュニティセンター		
その他	南部地区社協の事業に協力し、慈祐苑のお花見会、納涼祭への支援など、北中沢コミセン祭りにも参加、バザーの運営に協力		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	ボランティア会員の高齢化により、会員数の減少が目立っています。会員一人ひとりの活動に負担がかからないようにメンバーを増員する必要があると思います。	前回の計画の成果など	活動内容については、ほぼ達成できています。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の支援活動に関心のある人にボランティア活動入会を勧めます。（30年度までに会員を3名増員） 高齢者の見守り活動や、地域づくりなど、会員研修を充実させます。 	継続活動	

団体名	グリーンハイツ憩の庭		
設立年月	平成4年 8月	会員数	15
活動内容	70歳以上の高齢者を対象に食事会、ゲーム、歌などをして楽しんでいます。現在、参加人数は、30～35名程です。		
活動日・時間	年4回 土曜日 12時～14時		
活動場所	管理組合第2集会所		
その他	自治会、慈祐苑の行事にも協力(自治会を主体とした「ふれあい処」に11名が協力しています。空き店舗を利用した地域サロンで、誰でも立ち寄っておしゃべりができ、いろいろな人とつながる事を目的とし、平成27年7月OPENしました。)		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	地域内の高齢者が増加し、参加者数は減少傾向。会員も高齢になり、今後継続するための対策や会員も楽しんで活動できる対策などが課題です。	前回の計画の成果など	毎年内容を検討の上、実施していますが、自治会、管理組合、老人会との連携は欠かせません。
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 継続活動・地域内の団体との交流・会員の増員・地域に見あった活動内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 会員の増員 地域に見あった活動の検討 	

団体名	「佐津間たんぽぽの会」		
設立年月	平成3年 4月	会員数	15
活動内容	ひとり暮らしの高齢者への友愛訪問、各施設への訪問、使用済み切手の収集、自治会でのお手伝いを行っています。		
活動日・時間	第1水曜日午後 他随時		
活動場所	幸豊苑、北部公民館、佐津間自治会館		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	・会員相互の健康管理に気配りしながら、楽しく続けていきたい。	前回の計画の成果など	・それぞれ楽しく活動しています。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	ききょう明日花会		
設立年月	平成2年 3月	会員数	15
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者との交流を大切に声掛け（電話）をします。 ・栗野保育園の夏祭り、運動会、餅つき大会などの準備協力。 ・栗野コミュニティセンターなかよし祭り協力。（模擬店の出店） ・北部公民館ふれあい祭り協力。（模擬店の出店） ・北部地区社協の行事に参加。（バスハイク、シルバーカレッジ、ミーティングなど） ・栗野コミセン前の花壇の管理。 ・定例談話会（年6回）・自治会祭り協力。 		
活動日・時間	不定期		
活動場所	高齢者施設、栗野保育園、北部公民館、栗野コミセン、青年館		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した活動を大切に！大人・子どもに限らず声掛けをする。 ・ゴミ、空き缶などの不法投棄がなくなるよう呼びかける。（看板の設置） 		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	会員の高齢化、入所者への負担増を理由に老人ホームの訪問は、今後中止しました。	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の出席率は、80～85%と良かった。 ・不特定のイベント参加についても、可能な限り早く周知できました。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の平均年齢が年々高くなっています。若い会員が参加できる機会を作り、また、知人などに協力依頼します。 ・会員相互の健康増進に気配りするとともに、痛み（心身ともに）を共有していきます。 ・会の役割はみんなで分担し、活動できる良い環境を目指します。 	特に若い会員の入会を実現し、会の活動継続できるよう頑張ります。	

(2) 福祉施設

施設名	社会福祉法人 南台五光福祉協会 もくせい園		
設立年月	昭和 59 年 10 月	会員数	46
事業内容	知的障がい者の個々の力量・経験に応じた活動を提供するとともに、日常生活が快適におくれるよう適切な支援、また生活に関する相談及び助言、その他日常生活上（入浴、排泄、食事など）の支援をしています。		
事務所	中沢 311-1		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	グループホームの数を増やすことがなかなか進まないことです。 (利用者の選考、世話人の確保)	前回の計画の成果など	日中の活動の場として「生活介護事業所」が平成 29 年度に開所します。
		目標達成率	50%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	障がい者も地域で生活ができるようグループホームと日中活動の場を展開していきます。	平成 28 年度～30 年度同様に展開して行きます。	

施設名	社会福祉法人 優幸会 みちる園		
設立年月	平成 18 年 9 月	会員数	70
事業内容	障がいのある方々が育ってきたこの地域で、良き理解者とともに充実した生活を営むことができるように必要な支援を行うことを目的として、日中活動（軽作業、製菓作業、農作業、リサイクル作業、手芸作業、クラブ活動など）を実施しています。		
事務所	佐津間 1113-3		
その他	障がい福祉サービス：生活介護・就労 B 型事業 障がい児通所支援：放課後等デイサービス・児童発達支援事業を実施しています。		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	ご本人・ご家族の福祉ニーズを検討し、必要なサービスの運営準備を行います。 地域行事に積極的に参加し、地域の方々との交流に努めます。	日中活動と宿泊型サービス、グループホームの運営を視野に入れ、活動を継続していきます。	

施設名	社会福祉法人 慶美会 特別養護老人ホーム 慈祐苑		
設立年月	平成元年 8月	会員数	160
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設 ・短期入所介護（ショートステイ） ・通所介護（デイサービス） ・居宅介護支援 ・地域包括支援センター ・配食サービス 		
事務所	道野辺 212-4		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を知っていただくことを目的としたバザーを開催、介護予防体操、認知症サポーター養成講座などを実施しました。今後も更に内容を充実させ地域貢献をしていきたいと思っています。 ・ボランティアの増員につきましては、広報不足もあり、増員には至っていません。今後の広報活動が課題です。 	前回の計画の成果など	バザーの開催や講習会の実施などにより、施設に対する理解が多少なりとも深まったのではないかと考えています。
		目標達成率	50%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学などの受入れ、講習会の充実、広報活動などをして、高齢者福祉施設への理解とボランティアの増員に向けた取り組みを行っています。 ・高齢者福祉の拠点としての機能を果たすため、地域のニーズに応えられる施設運営を目指します 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を生かした相談窓口の充実と施設が持っている専門的機能をフル活用し、安全・快適に過ごしていただける施設運営を行っていきます。 ・介護に必要な情報発信、各関係機関との連携強化とネットワークの構築を進めていきます。 	

施設名	社会福祉法人長寿の里 特別養護老人ホーム 鎌ヶ谷翔裕園		
設立年月	平成11年 4月	会員数	130
事業内容	地域交流スペースを活用した地域の方々の交流を中心に活動しています。また、小さな子供さんと高齢者（元気な）との交流の機会を作っていきたいと考えています。		
事務所	初富字東野 848-10		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	地域への施設の開放を積極的に行ってきた結果、地域交流スペースの予定が多くなってきたことにより、場合によっては、断らなければならない時がありました。	前回の計画の成果など	地域へのアピールができて、多くの地域の方々と交流が取れた。
		目標達成率	80%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	ショートステイの別館を建築予定		

施設名	社会福祉法人 高嶺福祉会 特別養護老人ホーム 初富の里		
設立年月	平成23年 6月	会員数	75
事業内容	介護老人福祉施設、短期入所生活介護（ショートステイ）、デイサービスの3事業所を展開しています。認知症ケアの充実、看取りケアに力を入れています。ボランティアさんの広く活動の場となっています。		
事務所	東初富 1-4-3		
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	近隣、地域の皆様を対象に、介護に関するお困りごとの相談や、介護教室の企画、開催を目指します。	地域の皆様との繋がりを深めていけるように活動を継続していきます。	

施設名	社会福祉法人 高嶺福祉会 特別養護老人ホーム さつまの里		
設立年月	平成26年 6月	職員数	95
事業内容	「看取りケアの充実」、「在宅福祉の充実」、「認知症ケアの充実」を施設運営の三大方針として事業を展開しています。介護老人福祉施設、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援の4つの事業を行っています。地域に根差した特養として、自治会・ボランティア団体など地域住民の皆様方と積極的な連携を図っていけたらと考えます。		
事務所	佐津間 989-1		
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座を開催します。 ボランティアの受入れを積極的に行っていきます。 近隣の学校の社会体験活動に積極的に協力していきます。 	左記と同様に活動していきます。	

施設名	社会福祉法人 弘成会 コミュニティーホームくぬぎ山		
設立年月	平成 27 年 5 月	職員数	58
事業内容	<p>入居者一人ひとりの意志及び人格を尊重、施設サービス計画に基づき、入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう目指します。</p> <p>入浴・排泄・食事などの介護、相談・援助、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。</p> <p>明るく家庭的な雰囲気の下、地域の高齢者、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、西部地区社協など、地域の社会資源や家庭との結びつきを重視した運営を行います。</p>		
事務所	初富 35-4		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	西部地区社協からの声掛けで、他で行われていない事を提供したいと考え、高齢者教室「パン作りで脳トレしましょう」を共催し、管理栄養士の下、地域住民の方にパン生地から生成まで体験してもらいました。今後は施設独自の開催を目指します。	「地域における公益的な取り組み」の創設により、無料又は低額な料金で提供する取り組みが明確化されました。当法人理念の「地域コミュニティに貢献する」は、この取り組みの心髄をつくものであり、今後は開催する機会を増やしていきます。	

施設名	社会医療法人社団木下会 介護老人保健施設 シルバーケア鎌ヶ谷		
設立年月	平成 11 年 2 月	会員数	定員入所 160 名、通所 70 名
事業内容	地域に根ざした施設を目指し、様々な業種と連携し、ご本人様に応じた目標と支援計画を立て、一日でも長く在宅生活を続けていけるよう支援していく施設です。		
事務所	初富 125-1		
前回の計画の成果など	利用者の状況に合わせてリハビリを行い、以前より在宅復帰する利用者が増えました。		
目標達成率	70%		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	利用者の状況に合わせてリハビリを行い、在宅復帰や施設入所につなげていければと思います。	利用者の状況に合わせてリハビリを行っていきたいと思います。	

施設名	社会医療法人社団木下会 介護老人保健施設 しんかま	
設立年月	平成 23 年 11 月	
事業内容	介護老人保健施設しんかまは、鎌ヶ谷総合病院内に併設している介護老人保健施設です。 鎌ヶ谷総合病院は、当施設の協力病院です。協力病院の中にある利点を生かしてご利用者の病状が急変などした場合には、速やかに受診をしています。 また、歯科口腔外科では、歯科衛生士の口腔ケアが受けられます。	
事務所	初富 929-6 鎌ヶ谷総合病院内 6階、7階	
その他	ご利用いただけるサービス ・入所療養介護（施設サービス）・短期入所療養介護・通所リハビリテーション	
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度
	月に一度レク行事でボランティアの方々にご協力頂いています。 演奏や歌、劇などご協力いただける団体や利用者様の趣味活動のボランティアを募集していきます。	ボランティア団体の方々のご協力を頂きながら、地域の皆様にご利用いただける施設を目指します。

施設名	社会福祉法人 榊山福祉会 ケアハウス 梨花苑		
設立年月	平成 9 年 10 月		
事業内容	老人福祉施設 ケアハウス、デイサービス、居宅支援		
事務所	くぬぎ山 4-8-22		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、設備の老朽化により経費の見通しがつきませんでした。 ・制度改正等により予算の深刻化に当たり、地区アピールが思うようにできませんでした。 	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の福祉サービス拠点としての役割については、若干根付きつつあります。
		目標達成率	30%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動	社会情勢を踏まえ継続活動	

(3) 福祉NPO法人

団体名	特定非営利活動法人 きらら		
設立年月	平成 11 年 4 月	会員数	34
活動内容	<p>法人が運営する多機能型事業所きららでは、放課後等デイサービスと就労継続支援B型の事業を行っています。</p> <p>放課後デイサービスでは、集団活動訓練と自立訓練を計画に沿って行っています。</p> <p>就労継続支援B型では、就労に向けての訓練と自立につながる生活訓練をしています。</p>		
活動日・時間	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービス 毎週月曜日～金曜日 正午～午後5時、月2回土曜日 午前9時～午後4時 ・就労継続支援B型 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 		
事務所または活動場所	南初富 3-1-2		
その他	グループホームの設立を考えています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	菓子製造業の営業許可証を持っていなかったため、いろいろな場所でのバザーなどで販売ができませんでした。やっと店舗を作り、営業許可証を取ることができました。菓子の開発に努め、売上を上げ、利用者への工賃向上につなげていきたいと思えます。グループホームの設立ができませんでした。	前回の計画の成果など	菓子製造業の営業許可が取れました。
		目標達成率	75%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	グループホームの設立	グループホームの設立	

団体名	特定非営利活動法人 鎌ヶ谷市手をつなぐ親の会		
設立年月	昭和 52 年 6 月	会員数	98
活動内容	平成 25 年 7 月に NPO 法人となり、知的障がい者とその家族に対して日中活動支援事業及び福祉増進のための事業を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センターⅢ型あっぴる及び喫茶とまとはうす運営 ・地域啓発活動 ・会員の研修及び情報発信、レクリエーションなど 		
活動日・時間	通年 随時 事業所は月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 4 時		
事務所または活動場所	喫茶とまとはうす 及び 地域活動支援センターあっぴる		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	会員の加齢による不安が見えてきました。計画相談の充実と鎌ヶ谷市内の福祉資源の増設が望まれます。グループホーム、余暇活動支援、ホームヘルプ事業など。	前回の計画の成果など	前回の目標であった NPO 法人を設立できました。平成 26 年 4 月Ⅲ型事業所あっぴるを開所し、現在に至っています。
		目標達成率	100%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動 平成 28 年度本格化したキャラバン隊の活動を広げるよう計画しています。	継続活動	

団体名	特定非営利活動法人 鎌ヶ谷たすけあいの会		
設立年月	平成 15 年 4 月	会員数	80
活動内容	高齢者単位の世帯が多くなってきている社会で、公共サービスの充実を頼りにしない、会員同士の相互扶助の対等の立場でいろいろなサービスの交流を行い、助けあって生き抜く地域社会を目指す市民団体です。		
活動日・時間	毎週月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 5 時		
事務所または活動場所	初富本町 2-12-19		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	訪問介護としてヘルパーの派遣や病院、買い物送迎として安価の移動サービスなどの高齢者対策をとっています。しかし、ヘルパー不足と有償ボランティア会員の減少に困っています。	前回の計画の成果など	各施設（鎌ヶ谷市）の充実で、ボランティアを含む介護活動が減少している問題が出ています。
		目標達成率	50%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動 介護予防事業の実施	継続活動 介護予防事業の実施	

団体名	特定非営利活動法人 四つ葉のクローバー		
設立年月	平成 17 年 2 月	会員数	35
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の高齢者の受入れ ・介護保険法に基づく地域密着型通所介護サービス（4 か所） ・介護保険法に基づく居宅介護支援サービス ・介護保険外のサービス ・小中高生の職場体験、ボランティア受入れ 		
活動日・時間	月曜日～土曜日		
事務所または活動場所	東初富 1-8-24（デイサービス四つ葉のクローバー） 東初富 5-24-34（デイサービス日々草） 南初富 2-1-16（デイサービスほたる草）		
その他	高齢者のデイサービスと介護の相談を行っています。地域の方々やボランティアの方との交流を心がけています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	閉じこもりがちな高齢者の方たちにデイサービスに来ていただき、楽しく過ごしていただきました。 担っていく職員もまた高齢の親を抱え、介護のために退職する者もいました。 介護職などの人材不足が課題です。	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防のために半日型のリハビリデイサービスを平成 26 年 6 月からほたる草にて開所しました。 ・各デイサービスの特徴を大切にしながら、地域の方にも参加していただける企画（敬老会）を平成 28 年 9 月に行うことができました。ボランティアの方の参加がありました。
		目標達成率	75%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、認知症の方への受入れを今後も力を入れて取り組んでいきます。 ・地域の方たちとの交流のできる場の提供を検討しています。 ・子どもや、デイサービスでの行事を通して活動できたらと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した活動を維持できるように活動していきます。 	

団体名	特定非営利活動法人 鎌ヶ谷たんぽぽクラブ		
設立年月	平成 17 年 11 月	会員数	38
活動内容	障がい児・者が地域で自立した生活をおくれるよう支援することを目的として、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、生活介護、就労継続支援 B 型、共同生活援助(グループホーム)、放課後等デイサービスの 5 事業を運営しています。		
活動日・時間	生活介護・就労継続支援 B 型 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 4 時 放課後等デイサービス 午前 9 時～午後 6 時 共同生活援助(グループホーム) 常時		
事務所または活動場所	本部事務所 初富 4-3-20 大成ビル 2 階		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	利用者の皆様の日々の充実感・満足度アップのため、職員の資質向上に努めます。	障がいがある人もない人も共に生きる地域づくりに貢献できるよう活動を継続していきます。	

団体名	特定非営利活動法人 青空の会		
設立年月	平成 16 年 8 月	会員数	40
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業 ・障害者総合支援法に基づく指定特定相談事業 ・障がいのある方々の地域課題を広報(情報発信)する事業 ・グループホームに関する相談・家族支援 		
活動日・時間	365 日 24 時間		
事務所または活動場所	東中沢 4-4-11 青空ハウス 1 号他 3 か所		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	<p>平成 26 年 11 月から新たに計画相談事業に着手し、身体障がい、知的障がい、発達障がい、難病などの当事者やそのご家族の方たちと密に関わり、自立支援協議会でも議論してきた結果、2 つの課題を実感しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来周辺市の社会資源に頼りすぎ、地元で良質なサービスが不足しています。 ・障がい種別に関わらず、地元で安心して相談できる拠点がありません。 	前回の計画の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム規模の拡張(9 名→12 名) ・計画相談事業の開始(45 件) ・講演会などの開催(毎年) ・情報誌の隔月発行
		目標達成率	100%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームのニーズに応えるために事業を拡充(12 名→15 名程度へ) ・基幹相談支援センター(障がい者の総合相談センター)の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・後見支援センターの実現 地域での権利擁護を支えるシステムを構築していく。 	

団体名	特定非営利活動法人 かまがや地域情報の窓		
設立年月	平成 15 年 6 月	会員数	34
活動内容	鎌ケ谷市民に役立つ生活情報をウェブで情報発信を行い、まちの活性化に貢献する活動を行っています。情報発信以外に、市民との交流を図る意味で、各種文化活動を行っています。 PC 講座、ロボット工作教室、デジタル一眼レフカメラ講座、料理教室、「シニアライフを楽しむ集い」高齢者向けイベント、HP に係る各種委託事業など		
活動日・時間	不定期		
事務所または活動場所	鎌ケ谷市富岡 3-1-1		
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	会員の入れ代わりに伴い、イベント内容も会員構成に見合った事業内容に変換せざるを得ないと考えています。 当 NPO 法人が得意とする情報関係の事業を充実し、新たな事業展開を行っていきます。	情報関係 ・PC 教育 ・子供向けプログラム学習 ・ロボット工作教室 ・高齢者向け活動支援事業「シニアライフを楽しむ集い」など	

団体名	特定非営利活動法人ニッポンアクティブライフクラブナルク東葛拠点「ありのみの会」		
設立年月	平成 15 年 5 月	会員数	104
活動内容	全国組織の NPO 法人です。（全国に 130 活動拠点、千葉県内 8 拠点）会員相互扶助（無償ボランティア、点数預託制度）が基本ですが、会員外の方にも植木剪定、草取り、家事支援など「自分の出来る事を出来る時に出来るだけ」のスタンスで活動しています。 どんなボランティア活動をしても 1 時間 1 点を預託して自分や両親に使えます。その他、施設支援活動や河川清掃活動、同好会活動やハイキングなどの活動を楽しんでいます。		
活動日・時間	土・日・祝日が主ですが、特に定めてはいません。		
事務所または活動場所	道野辺本町 1-12-18		
その他	社会貢献活動の一つとして、毎年公開講座を企画・開催しています。イベントとして、毎月 1 回レインボーホールでダンスパーティーを開催しています。		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	活動会員の高齢化 会員の減少	前回の計画の成果など	ここ数年、年間通りに実施しています。事業計画は予定のかなりの部分が継続的な活動です。
		目標達成率	90%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続した活動 公開講座の継続開催 高齢者支援活動 (支援事業者として登録)	継続した活動 シニアサポーター養成講座の開催	

(4) 当事者団体

団体名	鎌ヶ谷市精神障がい者家族会心の健康を支えるききょうの会		
設立年月	平成 15 年 3 月	会員数	21
活動内容	精神障がい者の家族が集まり支えあいながら情報交換、法律などの勉強会をしています。また習志野保健所、NPO 法人千葉県精神障害者家族会連合会などと連携を取って活動しています。		
活動日・時間	毎月 1 回（第 2 金曜日）午後 1 時 30 分～4 時		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	鎌ヶ谷市障がい福祉課、健康増進課や潜在障がい者家族との情報交換、福祉健康フェアでのコミュニケーションを深めることが、活動の基本です。 家族の高齢化に伴い、新しい会員の増員にも努めたいと思います。	前回の計画の成果など	計画通り、定例会や行事を通して情報交換やコミュニケーションを深めています。
		目標達成率	100%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動 鎌ヶ谷市障がい福祉課、健康増進課や潜在障がい者家族と連絡を取り、共に支えあい活動を進めていきます。	継続活動	

団体名	鎌ヶ谷市肢体不自由児・者を育てる会 ポコ・ア・ポコ		
設立年月	平成 8 年 10 月	会員数	15 世帯
活動内容	月 1 回の定例会を開催し、肢体不自由の子どもや家族がよい生活を送るための情報収集、情報交換を行っています。 また、子どもの介護で困っていることなどを話しあっています。		
活動日・時間	月 1 回 火曜日 午前 10 時～12 時		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	子どもたちも大きくなり、体も変化して、常に勉強することがたくさんあります。親も老化して、体力的に大変になっています。	前回の計画の成果など	新しい会員が増えました。
		目標達成率	ほぼ 100%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	鎌ヶ谷市身体障がい者福祉会		
設立年月	昭和 34 年 4 月	会員数	61
活動内容	<p>事業計画に沿って、春の歩行訓練、一泊研修、七夕魚釣り大会、福祉健康フェア、東葛飾地区スポーツ大会、五市会芸能大会などに参加、活動しています。</p> <p>他市との交流や情報交換をしたり、更に視覚障がい者わかば会・カラオケ部・ボウリング部・PC 会と障がい者の機能回復に努めると共に会員の引きこもりをなくして社会参加を促します。</p>		
活動日・時間	定例理事会 毎月第 2 金曜日 午後 1 時～4 時		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	高齢化に伴い、会員が減少した事もありますが、会員外の障がい者へのアピールが足りないように思います。福祉健康フェアなど一般への活動紹介や行事など、魅力ある会にしていく必要性を感じます。	前回の計画の成果など	高齢化に伴い、スポーツ大会は参加者が減少していますが、その他の行事、部会活動には大勢の参加がありました。
		目標達成率	70%
今後の活動	28 年度～30 年度	30 年度～32 年度	
	継続活動	継続活動	

団体名	鎌ヶ谷市聴覚障害者福祉会		
設立年月	昭和 53 年 3 月	会員数	18
活動内容	鎌ヶ谷市手話サークル「みどりの会」と活動を共にし、聴覚障がい者への理解を深める活動をしています。 ・定例会、研修会、交流会、広報「みどり」発行、小中学校での手話教室、地域の人々への手話教室開催。 ・市の行事などに参加。（福祉健康フェアなど） ・県の行事に参加。		
活動日・時間	毎週水曜日 午後7時～9時、毎週木曜日 午前10時～12時		
活動場所	総合福祉保健センター内		
前回の計画を振り返り、見えてきた課題など	・地域の人たちに積極的に聞こえないこと、手話について広める活動をしてきましたが、まだ十分ではありません。 ・防災についての取り組みを更に積極的にアプローチする必要があると考えています。（見る情報連絡会として活動する。）	前回の計画の成果など	・街で手話教室を受講した小学生などに会うと手話で「こんにちは」などと挨拶してくれるようになってうれしいです。 ・街のあちこち、行政の人たちにも手話を少しずつ使う人がいるのがうれしいです。
		目標達成率	70%
今後の活動	28年度～30年度	30年度～32年度	
	・地域の企画、学校などに積極的に手話を広めたいと思います。 ・防災については、地域の避難訓練や、災害ボランティアとの交流に参加して、自分たちがより安心できるように積極的に活動したいと思います。	継続活動	

鎌ヶ谷市地域福祉活動計画

発行年月：平成29年3月

発行者：社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会

〒273-0195

鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1

電話047-444-2231
